

iii. 子育てに関するアンケート調査

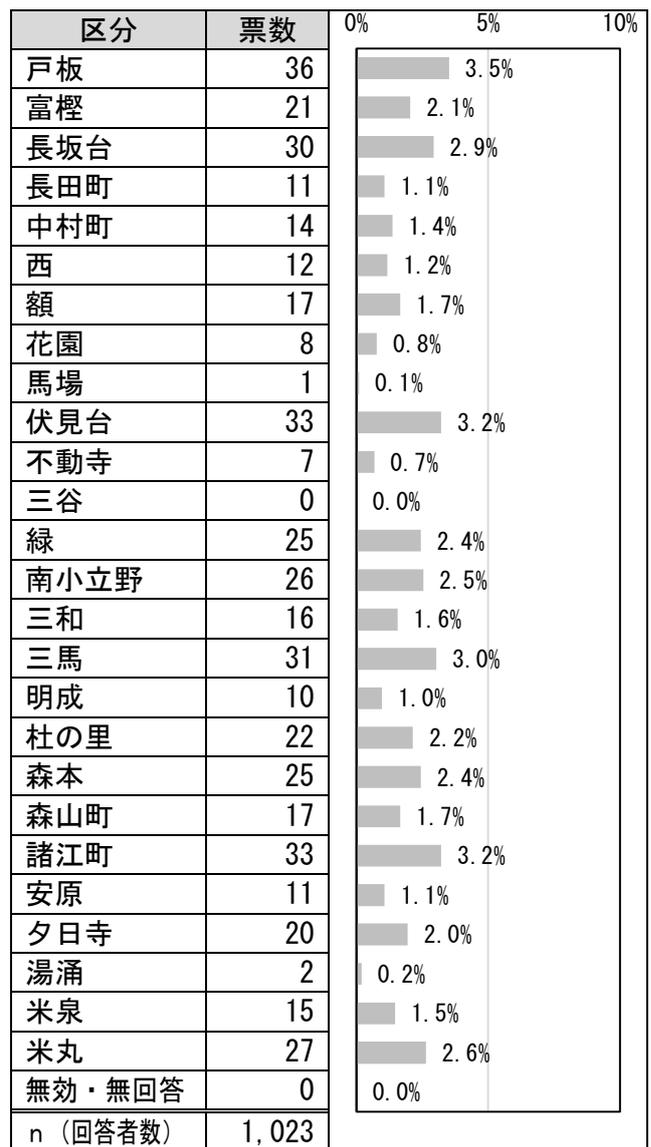
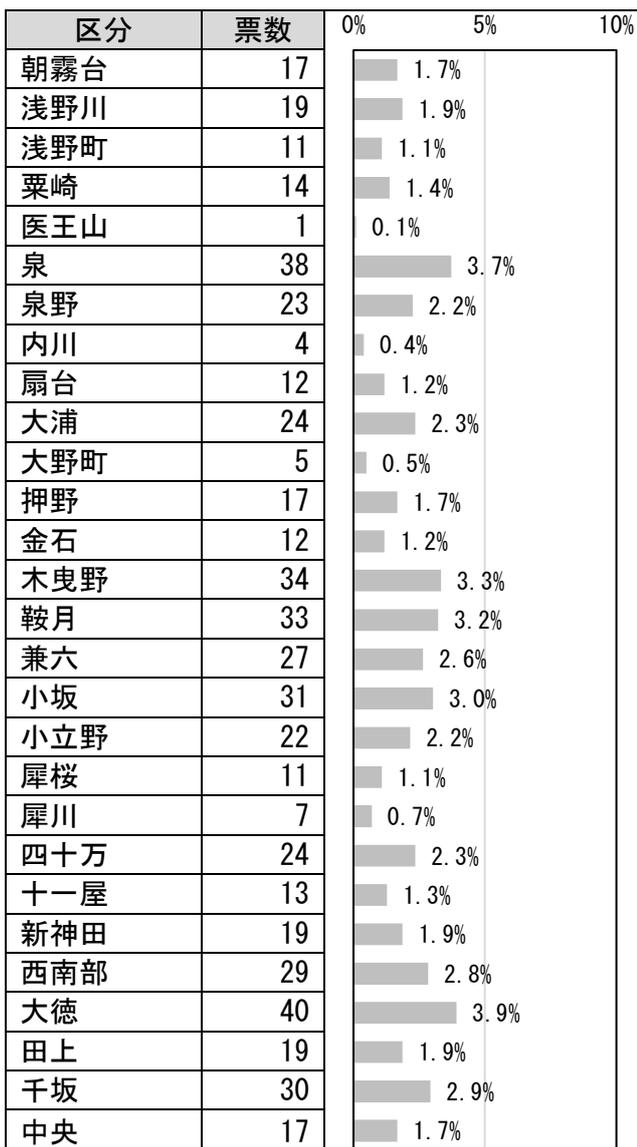
《対象：中学生・高校生の保護者》

1 回答者の住まい

(1)お住まいの小学校区(単一回答)

問1 お住まいの小学校区(校下)名(お送りした封筒の住所の上に記載してあります)を教えてください。あてはまるもの1つをお選びください。※小学校区は50音順に並んでいます。

・お住まいの小学校区は、「大徳」が3.9%、「泉」が3.7%、「戸板」が3.5%となっています。



2 回答者の属性

(1)対象の子どもの学年・世代(単一回答)

問2 あて名のお子さんの学年をお答えください。あてはまるもの1つをお選びください。(就学していない場合はあてまはる世代を選びください。)

- ・対象の子どもの学年・世代は「中学1年生」が18.0%、「中学2年生」が18.6%、「中学3年生」が16.4%、「高校1年生世代」が16.5%、「高校2年生世代」が14.9%、「高校3年生世代」が15.2%となっています。「中学1年生」と「中学2年生」がやや多くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
中学1年生	184						
中学2年生	190						
中学3年生	168						
高校1年生世代	169						
高校2年生世代	152						
高校3年生世代	156						
無効・無回答	4						
n (回答者数)	1,023						

(2)子どもの人数

問3 あて名のお子さんの兄弟姉妹は何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上のお子さんがある場合は、末子の生年月をお答えください。

- ・子どもの人数は、「1人」が19.6%、「2人」が48.7%、「3人」が26.4%、「4人」が4.6%、「5人以上」が0.8%となっており、「2人」が最も多く、次いで「3人」、「1人」となっています。
- ・子どもが2人以上いる場合の末子の年齢は、「13～15歳」が30.1%と最も多く、次いで「10～12歳」が24.2%、「16～18歳」が19.9%となっており、10歳以上が74.2%を占めています。

兄弟姉妹の人数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1人	200						
2人	498						
3人	270						
4人	47						
5人以上	8						
無効・無回答	0						
n (回答者数)	1,023						

未子の年齢(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1歳以下	16	1.9%					
2～3歳	14	1.7%					
4～5歳	45	5.5%					
6～7歳	57	6.9%					
8～9歳	75	9.1%					
10～12歳	199	24.2%					
13～15歳	248	30.1%					
16～18歳	164	19.9%					
無効・無回答	5	0.6%					
n (回答者数)	823						

(3)調査票の回答者(単一回答)

問4 アンケートの記入者はどなたですか。あてはまるもの1つをお選びください。(続柄はあて名のお子さんからみた関係です)

・アンケートの回答者は、「母親」が84.7%、「父親」が15.0%を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
母親	866	84.7%					
父親	153	15.0%					
その他	2	0.2%					
無効・無回答	2	0.2%					
n (回答者数)	1,023						

(4)調査票の回答者の配偶関係の有無(単一回答)

問5 アンケートの記入者の配偶関係をお答えください。あてはまるもの1つをお選びください。

・アンケートの回答者の配偶関係の有無は、「配偶者・パートナーがいる」が88.1%、「配偶者・パートナーはいない」が11.7%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
配偶者・パートナーがいる	901	88.1%					
配偶者・パートナーはいない	120	11.7%					
無効・無回答	2	0.2%					
n (回答者数)	1,023						

(5)子育てや教育を主に行っている方(単一回答)

問6 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまるもの1つをお選びください。(続柄はあて名のお子さんからみた関係です)

- ・子育てや教育を主に行っている方は、「父母ともに」が52.8%と最も多くなっており、次いで「主に母親」が45.5%を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
父母ともに	540	52.8%					
主に母親	465	45.5%					
主に父親	13	1.3%					
主に祖父母	3	0.3%					
その他	0	0.0%					
無効・無回答	2	0.2%					
n (回答者数)	1,023						

3 保護者の就労状況

(1)保護者の現在の就労状況

問7 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

【母親】

（1）母親について あてはまるもの1つをお選びください。（父子家庭の場合は記入不要です。）

※フルタイムは1週5日・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等はフルタイム以外の就労です。

- ・母親の就労状況は、「フルタイム」が47.6%と約半数を占めており、うち「フルタイム（就労中）」が47.4%となっています。また、「パート・アルバイト等」が40.3%を占め、うち「パート・アルバイト等（就労中）」が39.8%となっています。「フルタイム」も「パート・アルバイト等」も「休業中」の割合は少ないです。
- ・母親の就労状況が「無職」は11.1%を占め、うち「無職（就労経験あり）」が10.4%となっています。

母親の就労状況(単一回答)

区分		票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイム	就労中	485	47.4%					
	休業中	2	0.2%					
パート・アルバイト等	就労中	407	39.8%					
	休業中	5	0.5%					
無職	就労経験あり	106	10.4%					
	就労経験なし	7	0.7%					
無効・無回答		11	1.1%					
n（回答者数）		1,023						

問7(1) 母親で「1~4」(就労している)を選んだ方

(1) - 1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間、帰宅時間をお答えください。また、就労日に土曜日、日曜日・祝日が含まれる場合は、あてはまるものをお選びください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて記入してください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について記入してください。

- ・ 1週間あたりの就労日数は、「5日」が63.5%と最も多く、次いで「4日」が13.2%、「6日」が11.8%となっています。
- ・ 1日あたりの就労時間は、「7~8時間未満」が25.6%、「8~9時間」が23.9%と多くなっています。

1週間あたりの就労日数(単一回答)

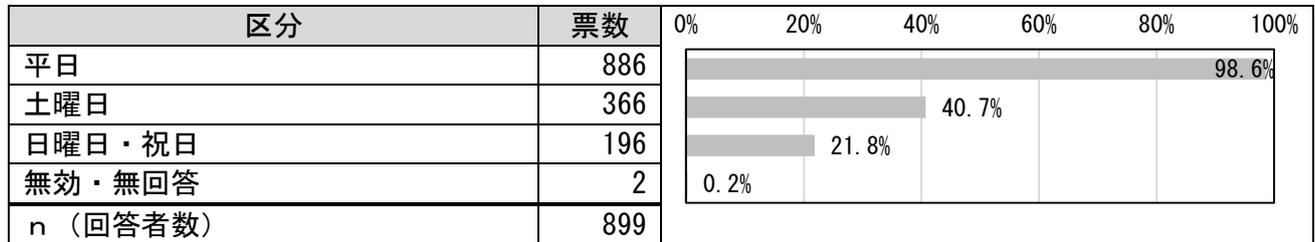
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	5	0.6%					
2日	22	2.4%					
3日	63	7.0%					
4日	119	13.2%					
5日	571	63.5%					
6日	106	11.8%					
7日	11	1.2%					
無効・無回答	2	0.2%					
n(回答者数)	899						

1日あたりの就労時間(単一回答)

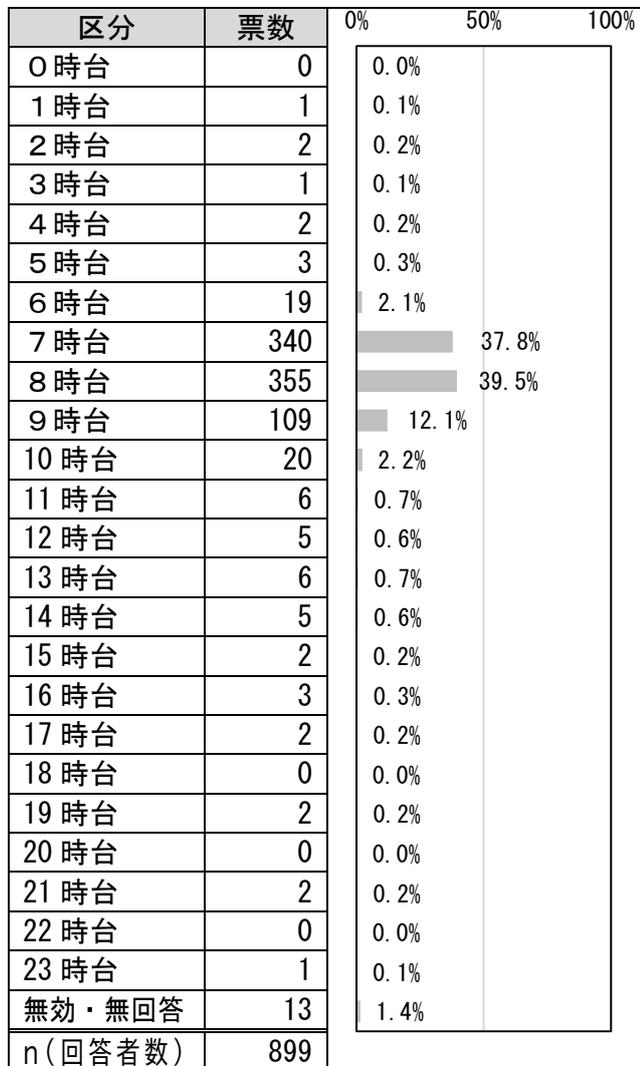
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1~2時間未満	4	0.4%					
2~3時間未満	13	1.5%					
3~4時間未満	23	2.6%					
4~5時間未満	96	10.7%					
5~6時間未満	132	14.7%					
6~7時間未満	98	10.9%					
7~8時間未満	229	25.6%					
8~9時間未満	214	23.9%					
9~10時間未満	53	5.9%					
10~11時間未満	16	1.8%					
11~12時間未満	13	1.5%					
12時間以上	5	0.6%					
無効・無回答	0	0.0%					
n(回答者数)	896						

- ・就労日は、「平日」が最も多く 98.6%を占め、「土曜日」が 40.7%、「日曜日・祝日」が 21.8%となっています。
- ・家を出る時間は「8時台」(39.5%)、「7時台」(37.8%)が多くなっており、帰宅時間は「18時台」(18.1%)、「17時台」(13.9%)が多くなっています。

就労日(複数回答)



家を出る時間(単一回答)



帰宅時間(単一回答)



【父親】

(2) 父親について あてはまるもの1つをお選びください。(母子家庭の場合は記入不要です。)

※フルタイムは1週5日・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等はフルタイム以外の就労です。

- ・父親の就労状況は、「フルタイム」が87.2%と約9割を占めており、うち「フルタイム（就労中）」が87.0%となっています。また、「パート・アルバイト等」が0.7%を占め、全てが「パート・アルバイト等（就労中）」となっています。「フルタイム」も「パート・アルバイト等」も「休業中」の割合はとても少ないです。
- ・父親の就労状況が「無職」は1.0%を占め、全てが「無職（就労経験あり）」となっています。

父親の就労状況(単一回答)

区分		票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイム	就労中	890	87.0%					
	休業中	2	0.2%					
パート・アルバイト等	就労中	7	0.7%					
	休業中	0	0.0%					
無職	就労経験あり	10	1.0%					
	就労経験なし	0	0.0%					
無効・無回答		114	11.1%					
n (回答者数)		1,023						

問7(2) 父親で「1~4」(就労している)を選んだ方

(2) - 1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間、帰宅時間をお答えください。また、就労日に土曜日、日曜日・祝日が含まれる場合は、あてはまるものをお選びください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて記入してください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について記入してください。

- ・ 1週間あたりの就労日数は、「5日」が63.1%と最も多く、次いで「6日」が31.7%となっています。
- ・ 1日あたりの就労時間は、「8~9時間」が33.3%、「9~10時間未満」が24.5%と多くなっています。また、「8時間以上」が85.1%を占めています。母親に比べ父親は「8時間以上」の長い就労時間の割合が多くなっています。

1週間あたりの就労日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	0	0.0%					
2日	0	0.0%					
3日	3	0.3%					
4日	3	0.3%					
5日	567				63.1%		
6日	285			31.7%			
7日	37			4.1%			
無効・無回答	4	0.4%					
n(回答者数)	899						

1日あたりの就労時間(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1~2時間未満	3	0.3%					
2~3時間未満	5	0.6%					
3~4時間未満	1	0.1%					
4~5時間未満	1	0.1%					
5~6時間未満	3	0.3%					
6~7時間未満	9	1.0%					
7~8時間未満	103			11.5%			
8~9時間未満	299			33.3%			
9~10時間未満	220			24.5%			
10~11時間未満	117			13.0%			
11~12時間未満	58			6.5%			
12時間以上	70			7.8%			
無効・無回答	10	1.1%					
n(回答者数)	899						

- ・就労日は、「平日」が最も多く 99.2%を占め、「土曜日」が 51.8%、「日曜日・祝日」が 26.8%となっています。母親に比べ父親は「土曜日」や「日曜日・祝日」の割合が多くなっています。
- ・家を出る時間は「7時台」(45.8%)、「8時台」(20.6%)、「6時台」(20.2%)が多くなっており、帰宅時間は「18時台」(15.1%)、「19時台」(13.7%)、「7時台」(12.5%)が多くなっています。

就労日(複数回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
平日	892	99.2%					
土曜日	466	51.8%					
日曜日・祝日	241	26.8%					
無効・無回答	2	0.2%					
n (回答者数)	899						

家を出る時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	0	0.0%		
1時台	0	0.0%		
2時台	2	0.2%		
3時台	2	0.2%		
4時台	7	0.8%		
5時台	29	3.2%		
6時台	182	20.2%		
7時台	412	45.8%		
8時台	185	20.6%		
9時台	29	3.2%		
10時台	13	1.4%		
11時台	2	0.2%		
12時台	3	0.3%		
13時台	3	0.3%		
14時台	1	0.1%		
15時台	2	0.2%		
16時台	2	0.2%		
17時台	2	0.2%		
18時台	1	0.1%		
19時台	2	0.2%		
20時台	1	0.1%		
21時台	1	0.1%		
22時台	2	0.2%		
23時台	0	0.0%		
無効・無回答	16	1.8%		
n (回答者数)	899			

帰宅時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	5	0.6%		
1時台	4	0.4%		
2時台	2	0.2%		
3時台	5	0.6%		
4時台	3	0.3%		
5時台	12	1.3%		
6時台	72	8.0%		
7時台	112	12.5%		
8時台	67	7.5%		
9時台	49	5.5%		
10時台	20	2.2%		
11時台	9	1.0%		
12時台	6	0.7%		
13時台	2	0.2%		
14時台	2	0.2%		
15時台	3	0.3%		
16時台	4	0.4%		
17時台	39	4.3%		
18時台	136	15.1%		
19時台	123	13.7%		
20時台	99	11.0%		
21時台	54	6.0%		
22時台	29	3.2%		
23時台	28	3.1%		
無効・無回答	14	1.6%		
n (回答者数)	899			

(2)パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望

問7の(1) 母親または(2) 父親で「3~4」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方

問8 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望は、母親も父親も同様の傾向にあり、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している」が最も多く、母親が59.5%、父親が57.1%を占めています。次いで「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」(母親：28.2%、父親：28.6%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(母親：8.0%、父親：14.3%)となっています。

(1)母親(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	33	8.0%					
フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	116	28.2%					
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している	245	59.5%					
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	12	2.9%					
無効・無回答	6	1.5%					
n (回答者数)	412						

(2)父親(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	14.3%					
フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	2	28.6%					
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している	4	57.1%					
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%					
無効・無回答	0	0.0%					
n (回答者数)	7						

(3)現在就労していない方の就労希望

問7の(1) 母親または(2) 父親で「5・6」(就労していない)を選んだ方

問9 就労したいという希望はありますか。あてはまるものそれぞれ1つをお選びください。

(1)母親

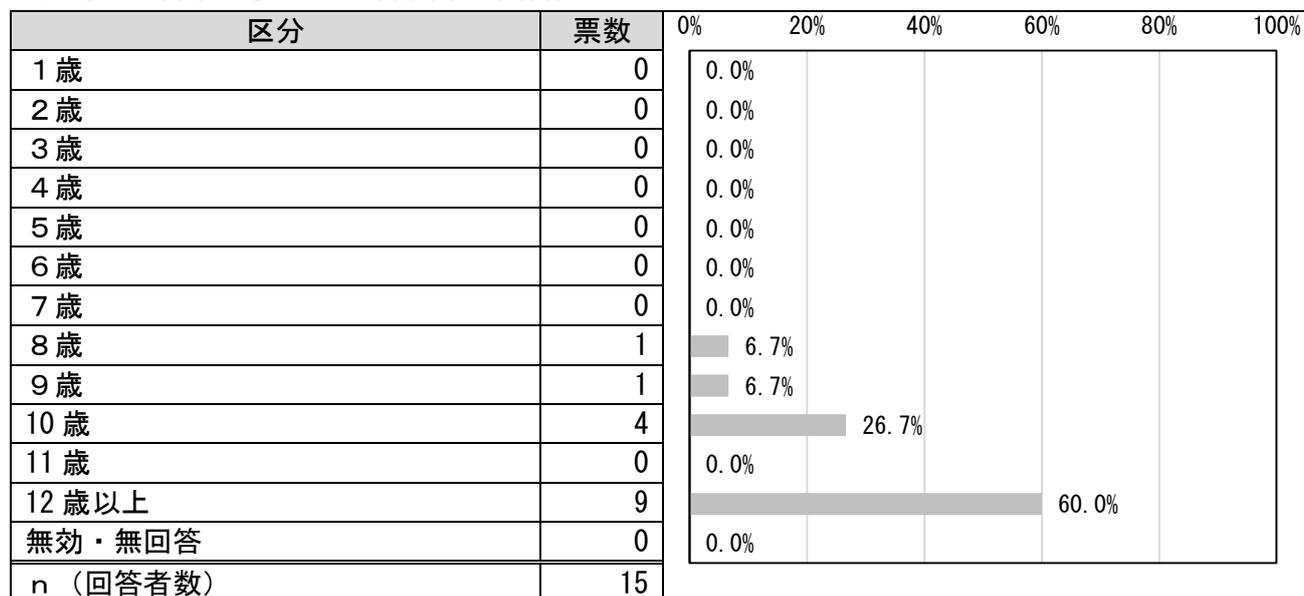
- ・現在、就労していない方の就労希望は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が46.9%、「1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」が13.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が38.1%です。
- ・「1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」方の就労時の一番下のお子さんの年齢は、「12歳以上」が60.0%、「10歳」が26.7%と多くなっています。
- ・「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労の形態は「フルタイム」が37.2%、「パート・アルバイト等」が62.8%です。
- ・また、「パート・アルバイト等」を希望する方の1週間あたりの就労希望日数は、「3日」が48.1%、「4日」が25.9%と多くなっています。1日あたりの就労希望時間は、「4～5時間未満」が48.1%、「5～6時間未満」が29.6%と多くなっています。

母親の就労希望(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	53	46.9%					
1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい	15	13.3%					
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	43	38.1%					
無効・無回答	2	1.8%					
n（回答者数）	113						

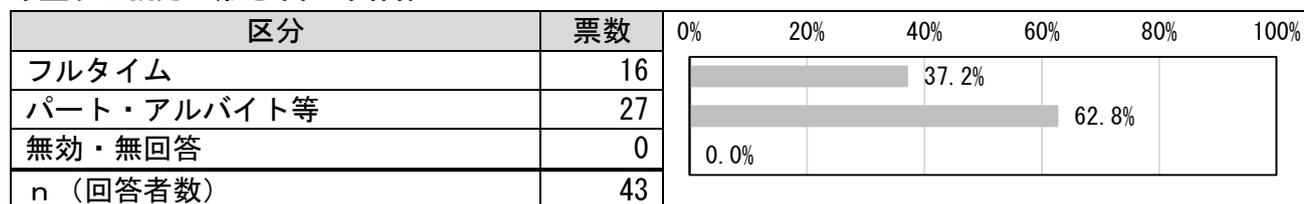
問9 就労希望で「2. 1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」を選んだ方

就労時の一番下の子どもの年齢(単一回答)



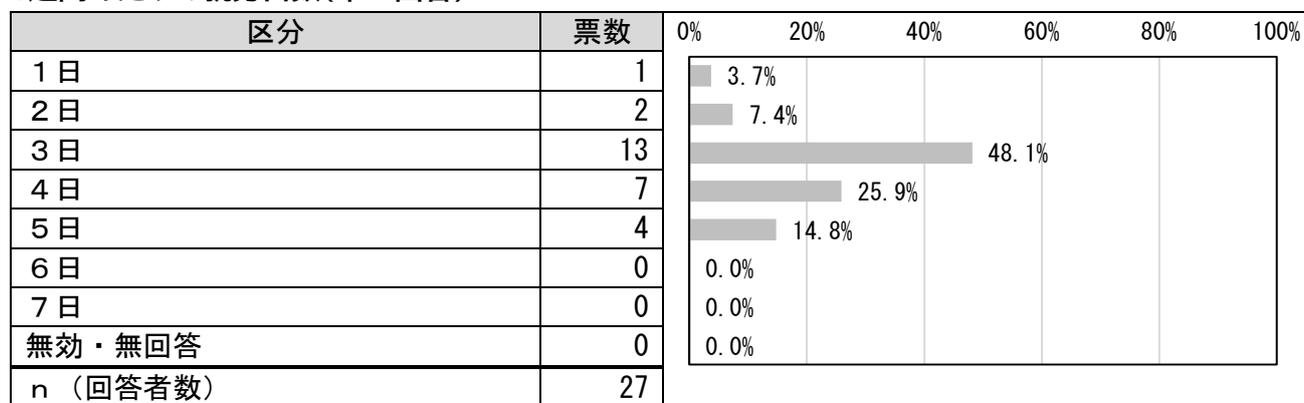
問9 就労希望で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

希望する就労の形態(単一回答)

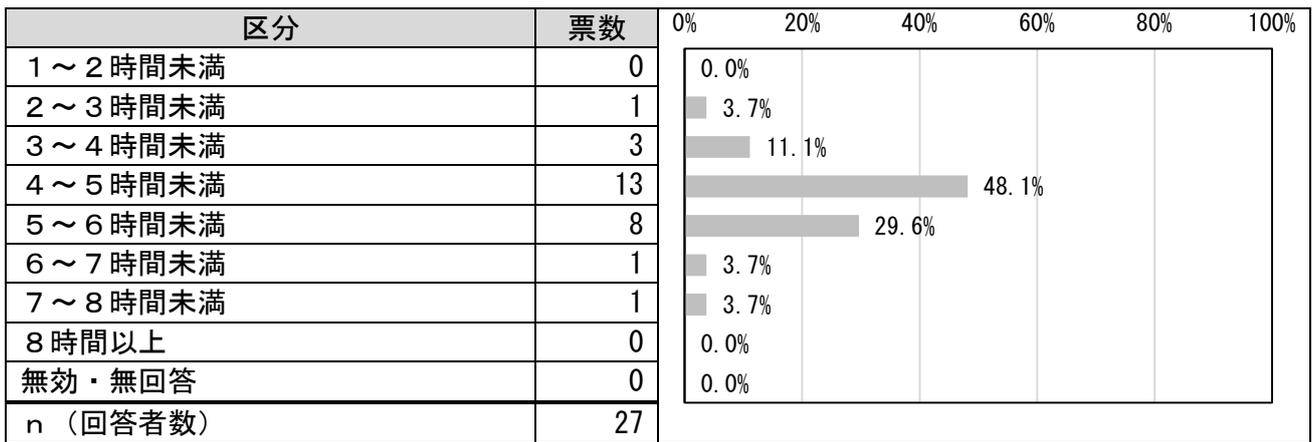


希望する就労形態で「イ. パート・アルバイト等(「ア. フルタイム」以外)」を選んだ方

1週間あたりの就労日数(単一回答)



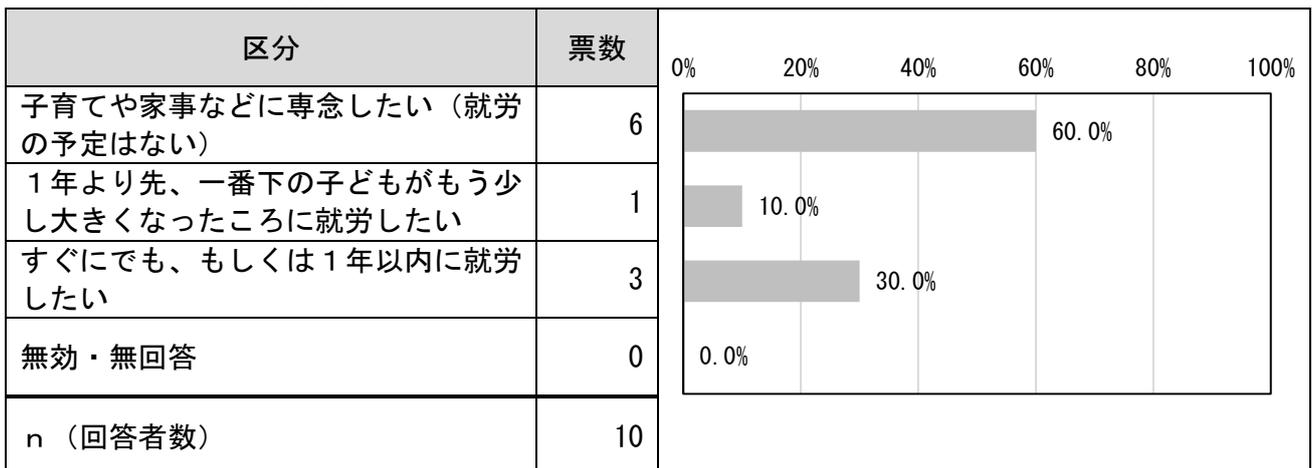
1日あたりの就労時間(単一回答)



(2)父親

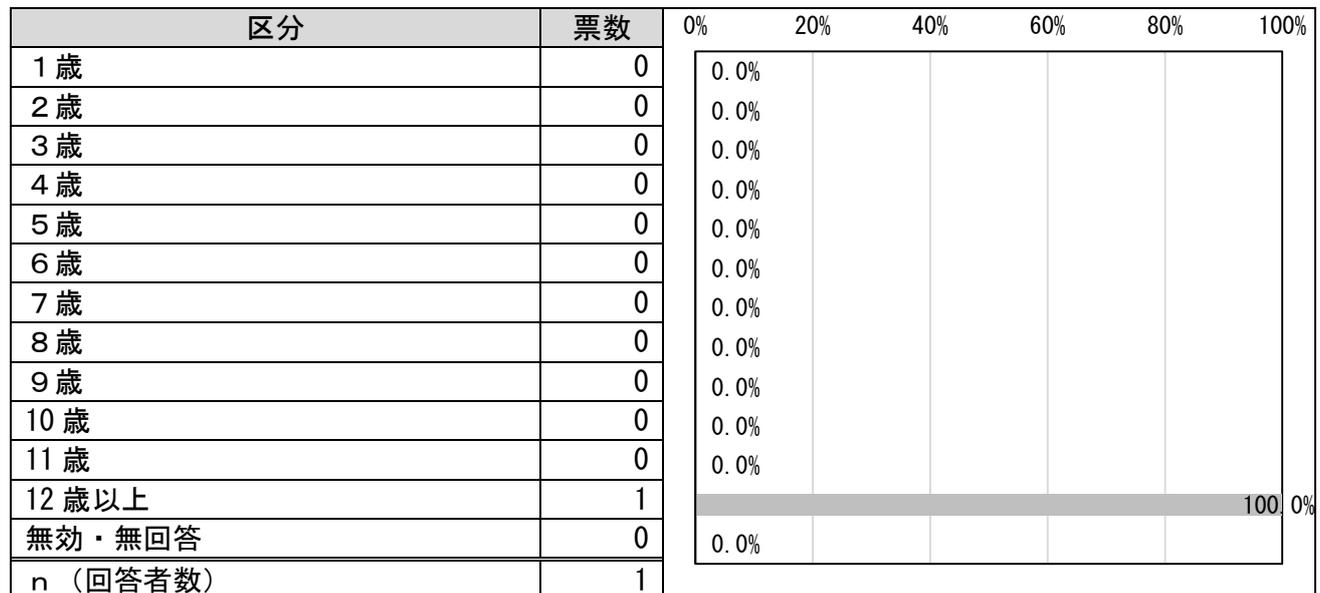
- ・現在、就労していない方の就労希望は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が60.0%、「1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」が10.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30.0%です。
- ・「1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」方は1人で、就労時の一番下のお子さんの年齢は、「12歳以上」です。
- ・「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労の形態は「フルタイム」が66.7%、「パート・アルバイト等」が33.3%です。
- ・また、「パート・アルバイト等」を希望する方は1人で、1週間あたりの就労希望日数は、「5日」、1日あたりの就労希望時間は「5～6時間未満」です。

父親の就労希望(単一回答)



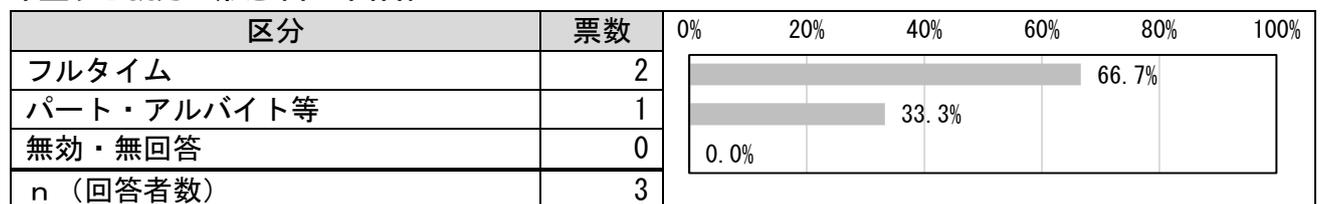
問9 就労希望で「2. 1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」を選んだ方

就労時の一番下の子どもの年齢(単一回答)



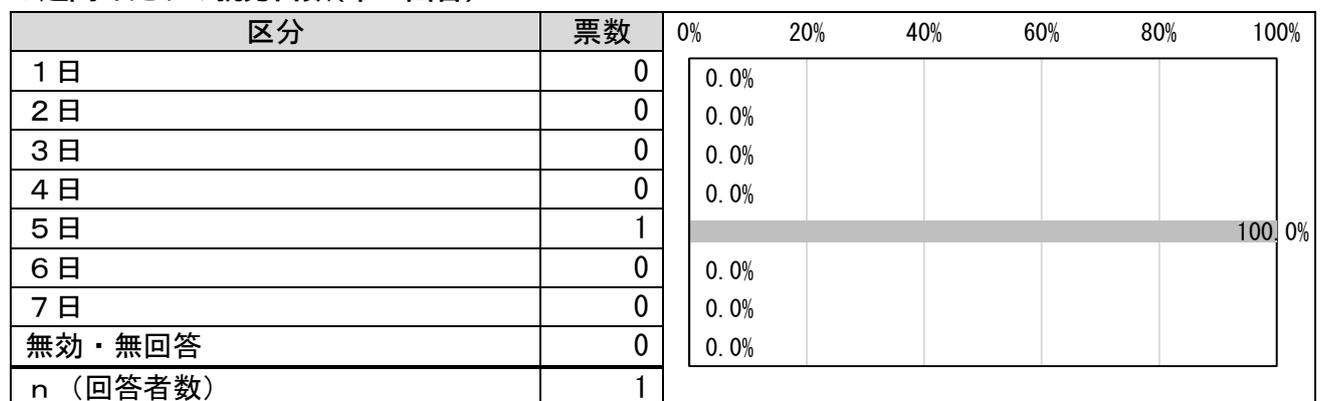
問9 就労希望で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

希望する就労の形態(単一回答)

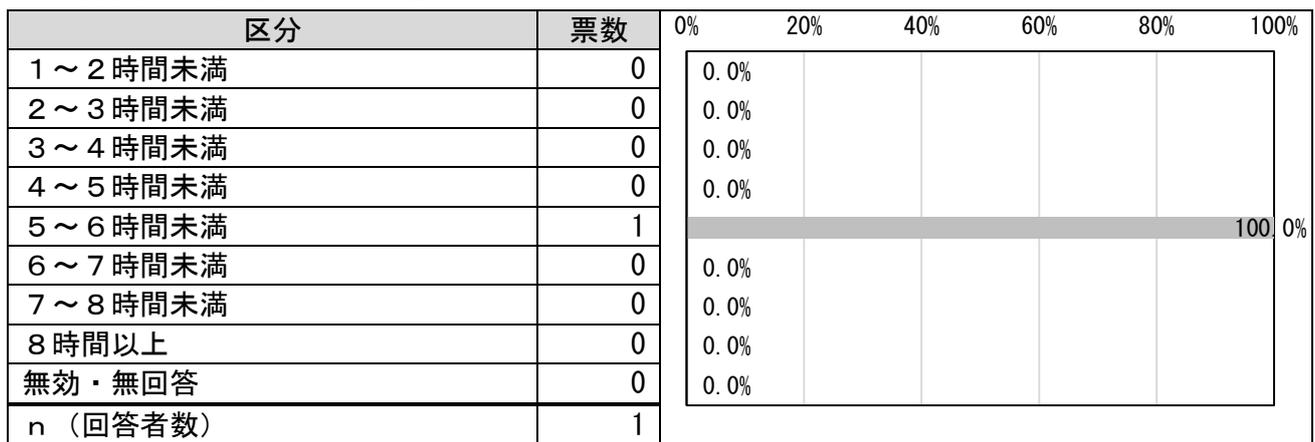


希望する就労形態で「イ. パート・アルバイト等(「ア. フルタイム」以外)」を選んだ方

1週間あたりの就労日数(単一回答)



1日あたりの就労時間(単一回答)



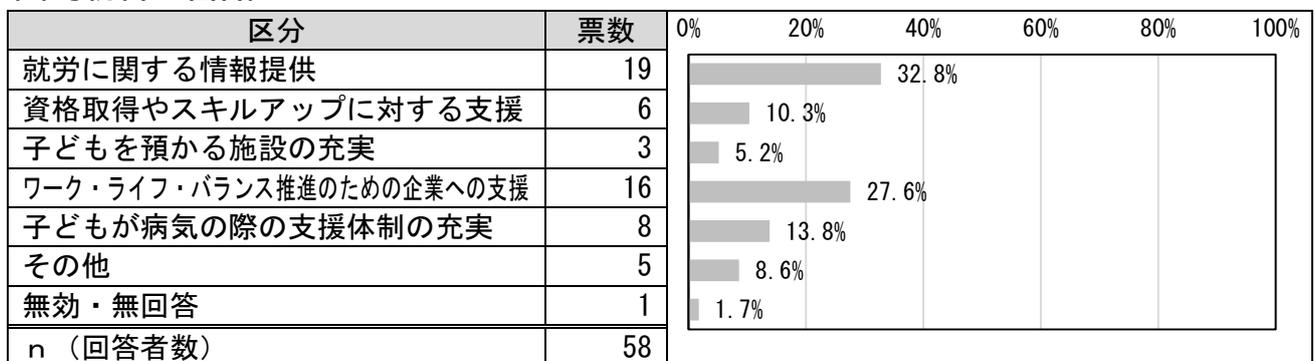
(4)就職時に必要とされる支援や対策

問9の(1) 就労希望で「2・3」(就労したい)を選んだ方

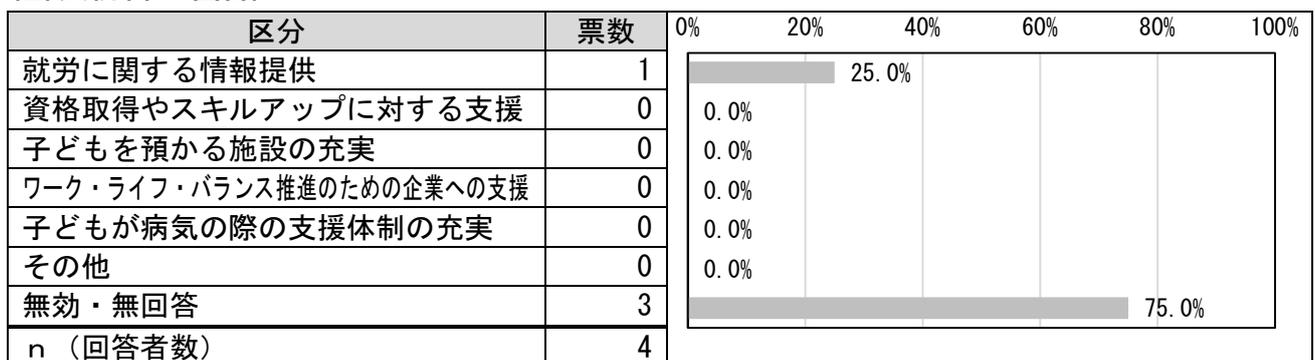
問9-1 就職または再就職するにあたって、どのような支援をもっとも必要としていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・就職時に必要とされる支援について、母親は「就労に関する情報提供」が最も多く32.8%、次いで「ワーク・ライフ・バランス推進のための企業への支援」が27.6%、「子どもが病気の際の支援体制の充実」が13.8%です。父親は「就労に関する情報提供」が25.0%を占めています。

(1)母親(単一回答)



(2)父親(単一回答)



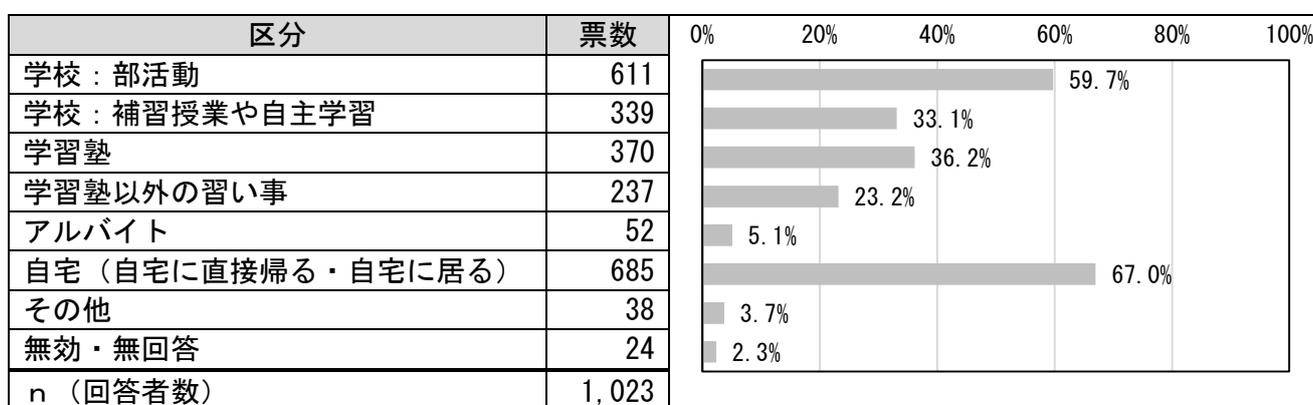
4. 放課後の過ごし方

(1)対象の子どもの放課後の過ごし方

問10 あて名のお子さんについて、放課後（平日の学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれ1週間あたりの日数についてあてはまるもの1つをお選びください。

放課後の過ごし方(複数回答)

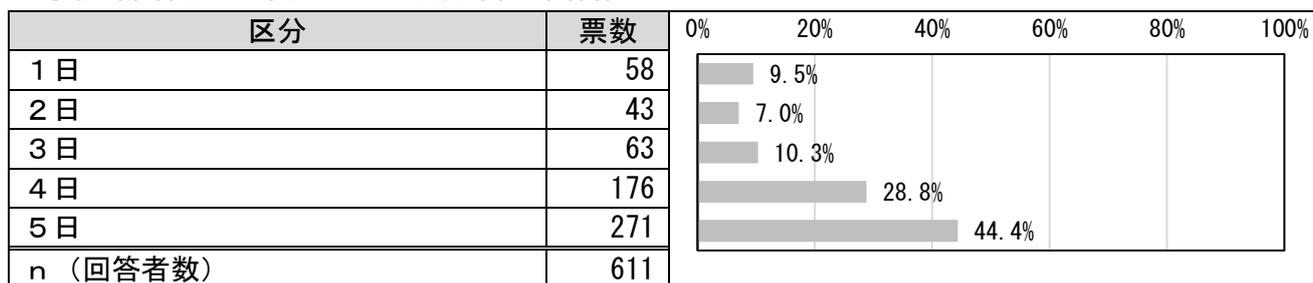
- ・放課後の過ごし方は、「自宅（自宅に直接帰る・自宅に居る）」が67.0%と最も多くなっており、次いで「学校：部活動」が59.7%、「学習塾」が36.2%、「学校：補習授業や自主学習」が33.1%となっています。



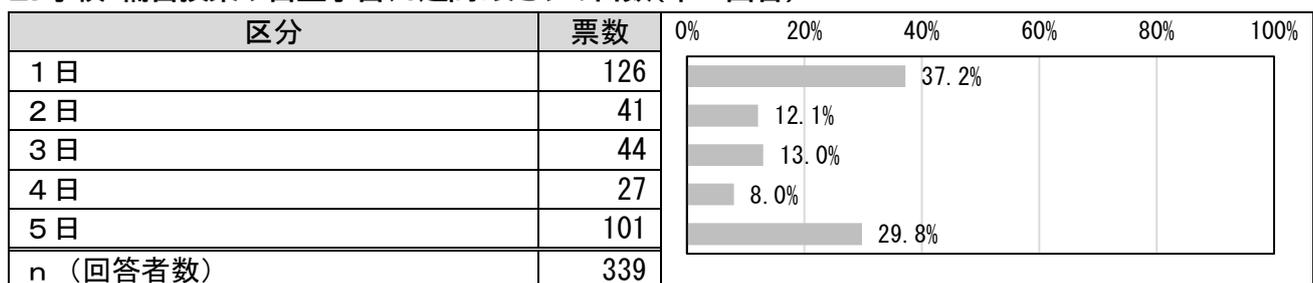
放課後過ごす場所

- ・「自宅（自宅に直接帰る・自宅に居る）」や「学校：部活動」は「5日」が最も多くなっています。「学校：補習授業や自主学習」や「学習塾以外の習い事」は「1日」が最も多くなっています。「学習塾」や「アルバイト」は「2日」が最も多くなっています。

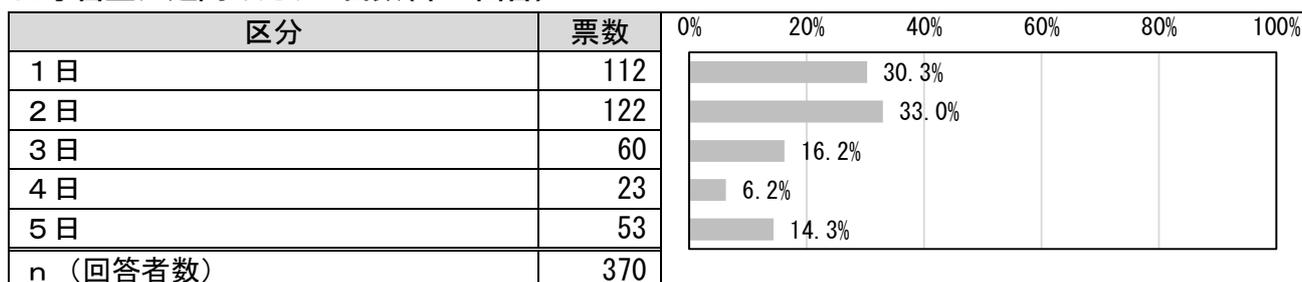
1. 学校：部活動；1週間あたりの日数(単一回答)



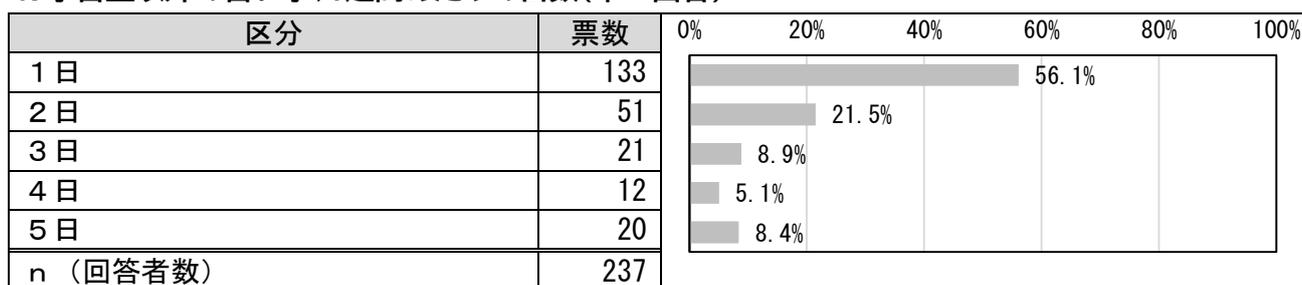
2. 学校：補習授業や自主学習；1週間あたりの日数(単一回答)



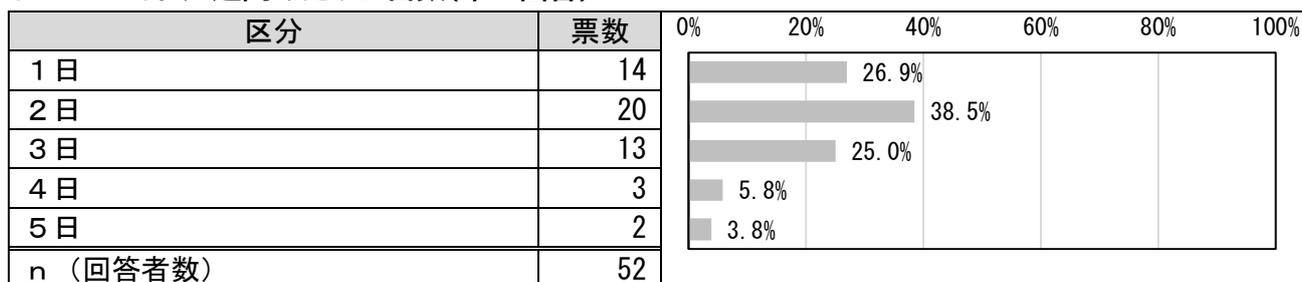
3. 学習塾;1週間あたりの日数(単一回答)



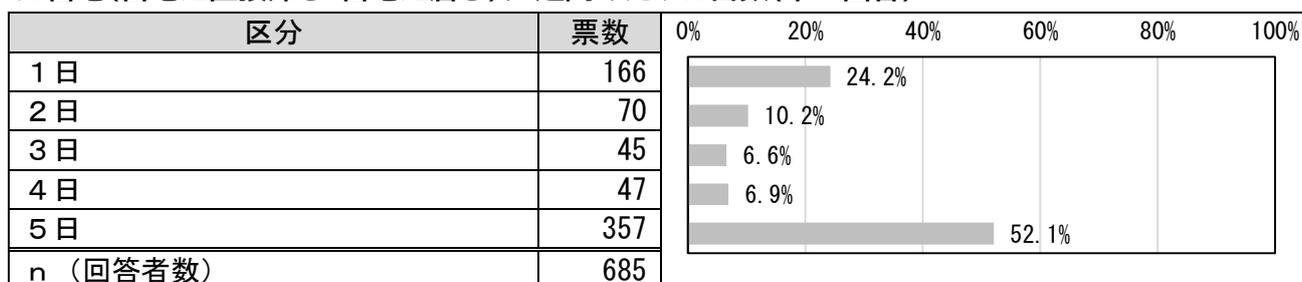
4. 学習塾以外の習い事;1週間あたりの日数(単一回答)



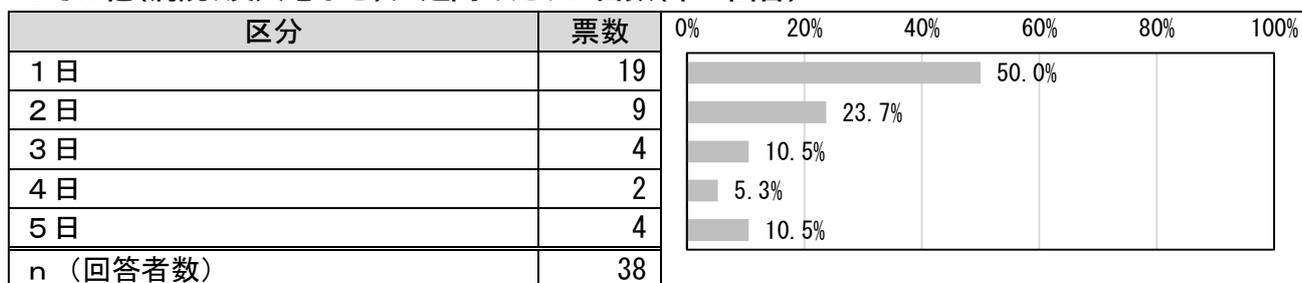
5. アルバイト;1週間あたりの日数(単一回答)



6. 自宅(自宅に直接帰る・自宅に居る);1週間あたりの日数(単一回答)



7. その他(病院、友人宅など);1週間あたりの日数(単一回答)



5 病気の際の対応

(1)子どもが病気やケガで学校(または仕事)を休んだことの有無

問11 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校（または仕事等）を休まなければならなかったことはありますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・子どもが病気やケガで学校（または仕事等）を休んだことの有無は、「あった」が60.4%、「なかった」が39.2%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
あった	618	60.4%					
なかった	401	39.2%					
無効・無回答	4	0.4%					
n（回答者数）	1,023						

(2)子どもが病気やケガで学校(または仕事)を休んだ場合の対処方法

問11 子どもが病気やケガで学校(または仕事)を休んだことの有無で「1. あった」を選んだ方

問12 あて名のお子さんが病気やケガで学校（または仕事等）を休んだ場合に、この1年間で行った対処方法とそれぞれの日数はおおむね何日ですか。あてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれの日数についてあてはまるもの1つをお選びください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）

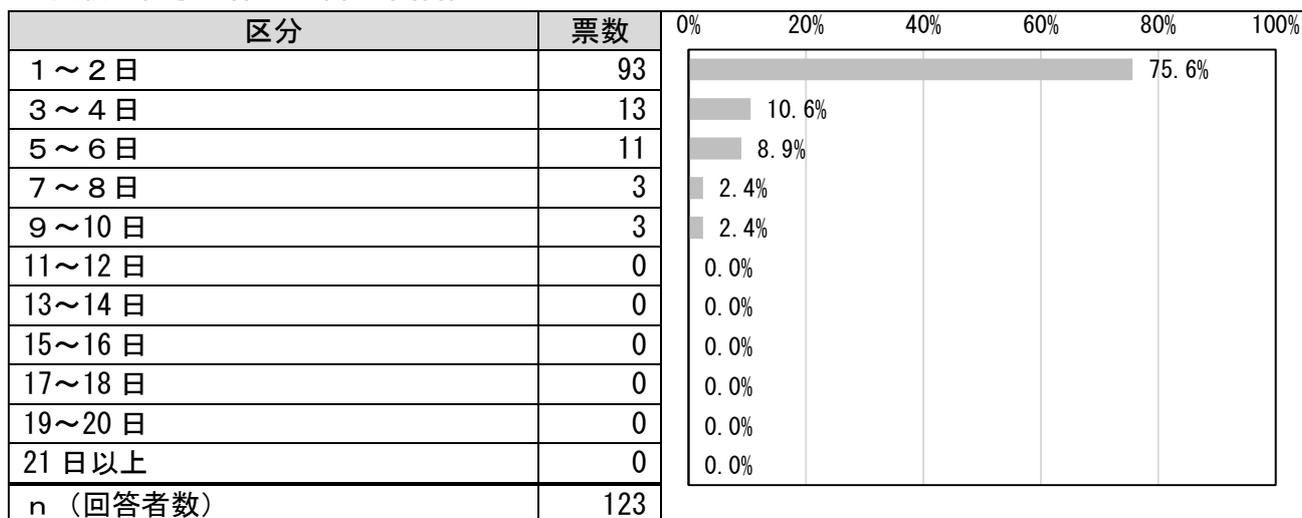
子どもが病気やケガで学校(または仕事等)を休んだ場合の対処方法(複数回答)

- ・子どもが病気やケガで学校（または仕事等）を休んだ場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が最も多く66.2%を占めており、次いで「子どもだけで留守番をさせた」が46.4%、「父親が仕事を休んだ」が19.9%となっています。

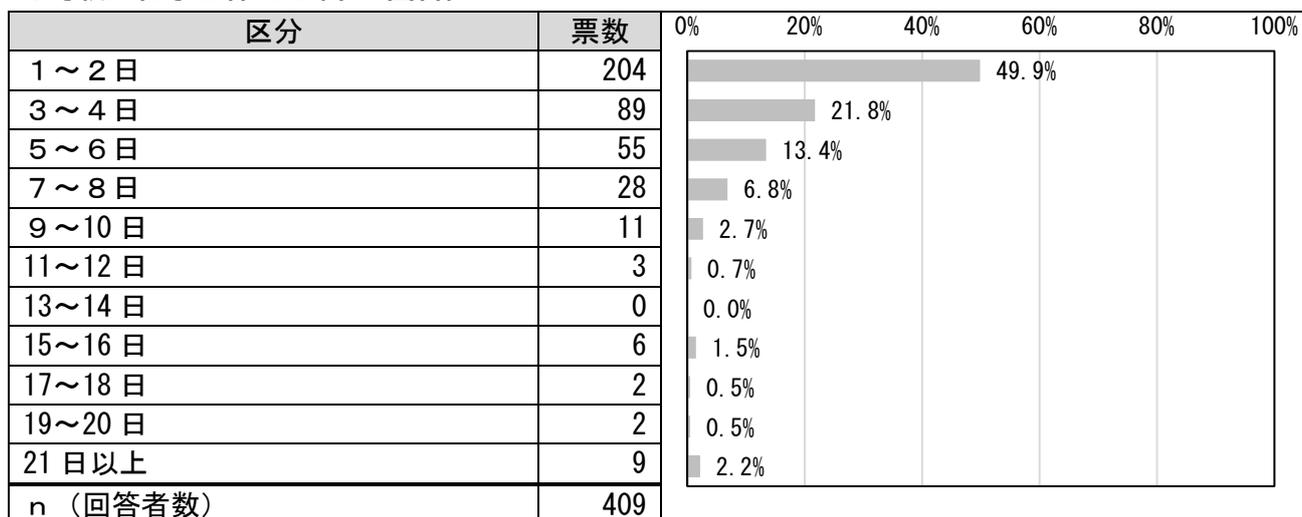
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
父親が仕事を休んだ	123	19.9%					
母親が仕事を休んだ	409	66.2%					
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	93	15.0%					
父親または母親のうち就労していない保護者がみた	73	11.8%					
子どもだけで留守番をさせた	287	46.4%					
その他	14	2.3%					
無効・無回答	20	3.2%					
n（回答者数）	618						

子どもが病気やケガの際の対処方法別の1年間の対処日数

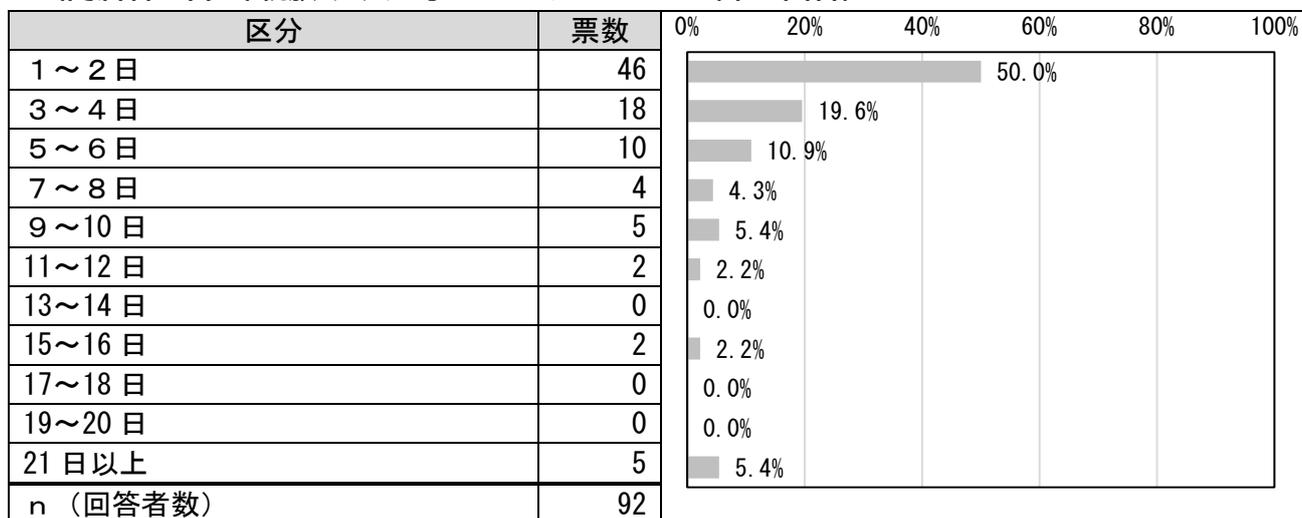
ア. 父親が仕事を休んだ(単一回答)



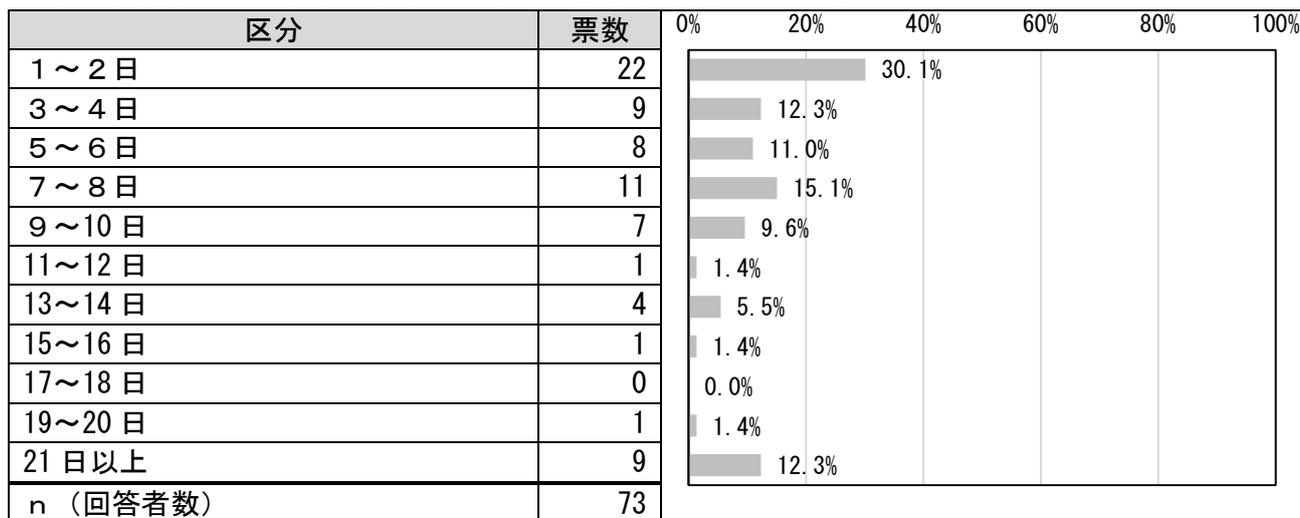
イ. 母親が仕事を休んだ(単一回答)



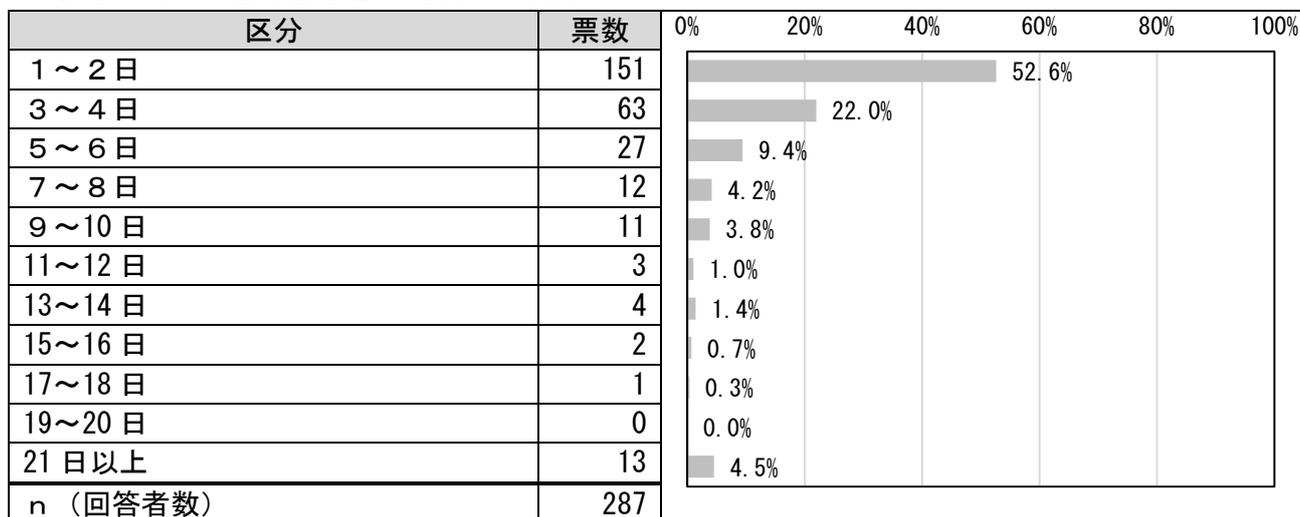
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった(単一回答)



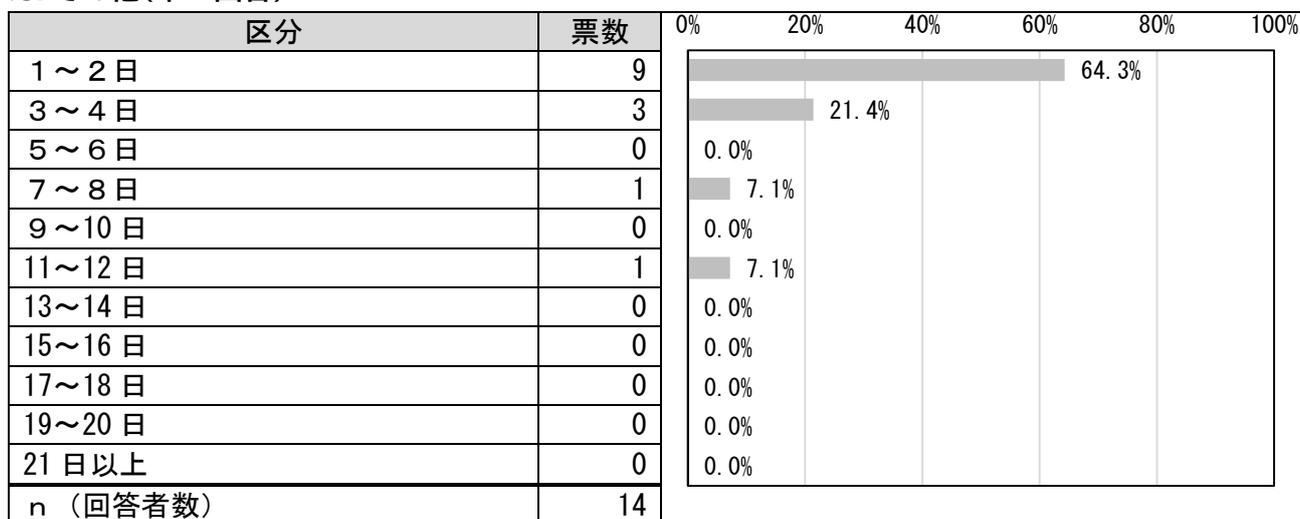
エ. 父親または母親のうち就労していない保護者がみた(単一回答)



オ. 子どもだけで留守番をさせた(単一回答)



カ. その他(単一回答)



6 教育費

(1) 高校へ進学又は通学させることへの経済的負担感(単一回答)

問 13 あて名のお子さんについて、高校へ進学又は通学させることへの経済的負担を感じますか。あなたの考えにもっとも近いもの1つをお選びください。

- ・高校へ進学又は通学させることへの経済的負担感は、「経済的負担を感じる」が31.1%、「どちらかといえば経済的負担を感じる」が33.3%となっており、経済的負担を感じている方が64.4%となっています。
- ・一方、「あまり経済的負担を感じない」が24.2%、「経済的負担を感じない」が10.4%となっており、経済的負担を感じていない方が34.6%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
経済的負担を感じる	318	31.1%					
どちらかといえば経済的負担を感じる	341	33.3%					
あまり経済的負担を感じない	248	24.2%					
経済的負担を感じない	106	10.4%					
無効・無回答	10	1.0%					
n (回答者数)	1,023						

(2) 高校へ進学又は通学させることへの経済的負担を感じること(複数回答※3つまで)

問 13 高校へ進学又は通学させることへの経済的負担感で「1・2」(経済的負担を感じる)を選んだ方

問 14 どのような面で高校へ進学又は通学させることへの経済的負担を感じますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・高校へ進学又は通学させることへの経済的負担を感じている方が負担を感じることは、「制服代や教科書代等入学準備にかかる費用」が67.8%と最も多く、次いで「授業料」が48.1%、「通学にかかる交通費」が45.1%、「入学金」が37.0%、「受験のための学習塾等にかかる費用」が36.9%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
受験費用(受験料・受験交通費等)	66	10.0%					
入学金	244	37.0%					
制服代や教科書代等入学準備にかかる費用	447	67.8%					
授業料	317	48.1%					
通学にかかる交通費	297	45.1%					
部活動にかかる費用	119	18.1%					
受験のための学習塾等にかかる費用	243	36.9%					
自宅での学習用品にかかる費用	14	2.1%					
入学のための引っ越しにかかる費用	13	2.0%					
進学に伴う子の一人暮らしにかかる費用	18	2.7%					
その他	14	2.1%					
無効・無回答	1	0.2%					
n (回答者数)	659						

(3)大学へ進学させることへの経済的負担感(単一回答)

問 15 あて名のお子さんについて、大学へ進学させることへの経済的負担を感じますか。あなたの考えにもっとも近いもの1つをお選びください。

- ・大学へ進学させることへの経済的負担感は、「経済的負担を感じる」が67.3%、「どちらかといえ
ば経済的負担を感じる」が21.5%となっており、経済的負担を感じている方が88.8%となっ
ています。
- ・一方、「あまり経済的負担を感じない」が6.4%、「経済的負担を感じない」が3.6%となっ
ており、経済的負担を感じていない方が10.0%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
経済的負担を感じる	688						
どちらかといえば経済的負担を感じる	220						
あまり経済的負担を感じない	65						
経済的負担を感じない	37						
無効・無回答	13						
n (回答者数)	1,023						

(4)大学へ進学又は通学させることへの経済的負担を感じること(複数回答※3つまで)

問 15 大学へ進学させることへの経済的負担感で「1・2」(経済的負担を感じる)を選んだ方

問 16 どのような面で大学へ進学又は通学させることへの経済的負担を感じますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・大学へ進学させることへの経済的負担を感じている方が負担を感じることは、「授業料」が86.6%と最も多く、次いで「入学金」が61.8%、「進学に伴う子の一人暮らしにかかる費用」が48.1%となっています。

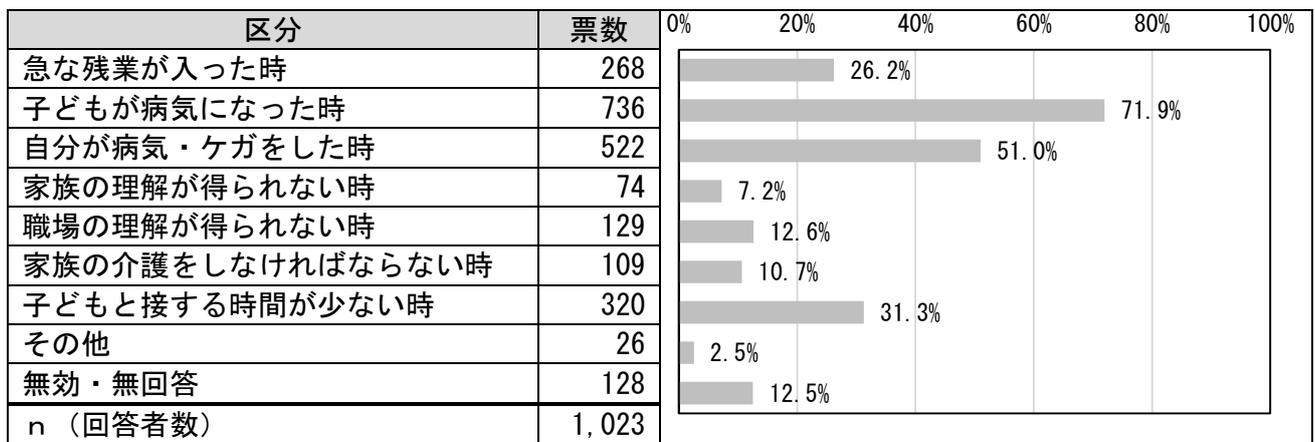
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
受験費用(受験料・受験交通費等)	171						
入学金	561						
制服代や教科書代等入学準備にかかる費用	117						
授業料	786						
通学にかかる交通費	146						
部活動にかかる費用	9						
受験のための学習塾等にかかる費用	201						
自宅での学習用品にかかる費用	4						
入学のための引っ越しにかかる費用	120						
進学に伴う子の一人暮らしにかかる費用	437						
その他	5						
無効・無回答	2						
n (回答者数)	908						

7 ワーク・ライフ・バランス

(1)仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じる時(複数回答※3つまで)

問 17 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じるのはどのような時ですか。主なものを3つまでお選びください。

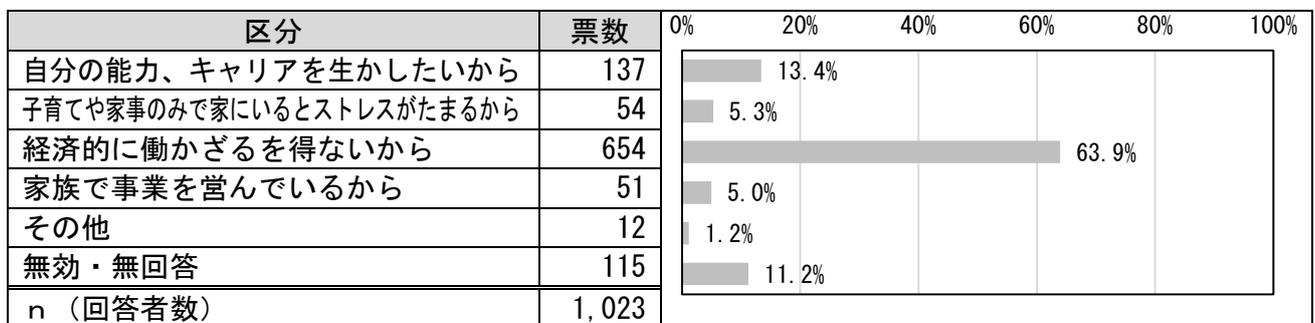
- ・仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じる時は、「子どもが病気になった時」が71.9%と最も多くなっており、次いで「自分が病気・ケガをした時」が51.0%、「子どもと接する時間が少ない時」が31.3%、「急な残業が入った時」が26.2%となっています。



(2)仕事を続けている理由(単一回答)

問 18 現在、仕事を続けている理由は何ですか。あなたの考えにもっとも近いもの1つをお選びください。

- ・現在、仕事を続けている理由は、「経済的に働かざるを得ないから」が最も多く63.9%を占めており、次いで「自分の能力、キャリアを生かしたいから」が13.4%となっています。



(3)家庭内での家事分担(単一回答)

配偶者・パートナーと同居されている方

問 19 あなたの家庭での男女の家事分担は、次のうちどのような形ですか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・家庭内での配偶者・パートナーとの家事の役割分担は、「女性が主に家事をしている」が57.4%と最も多くなっており、次いで「できることをそれぞれが分担している」が28.5%となっています。なお、「男性が主に家事をしている」は0.9%にとどまっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
できることをそれぞれが分担している	292	28.5%					
男性が主に家事をしている	9	0.9%					
女性が主に家事をしている	587	57.4%					
その他	2	0.2%					
無効・無回答	133	13.0%					
n (回答者数)	1,023						

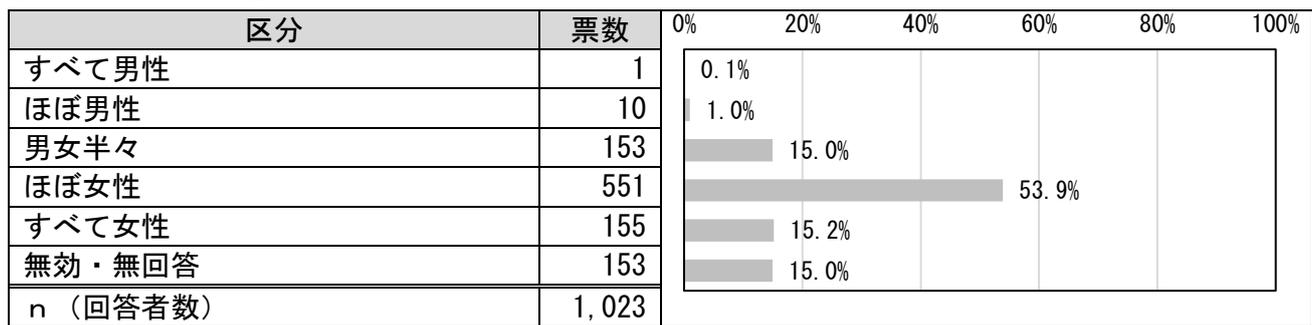
(4)家庭内での家事・育児の分担割合

配偶者・パートナーと同居されている方

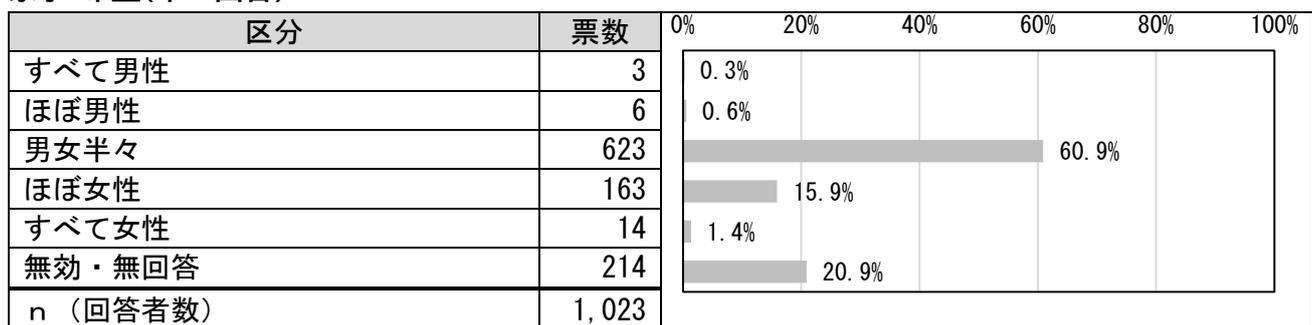
問 20 現在のあなたの家庭で、男女それぞれの家事・育児に関わる割合について、あなたが思う「現実」と「希望」の割合をあてはまるもの1つをお選びください。なお、現実が希望どおりである場合は、希望欄の回答は必要ありません。

- ・家庭内での配偶者・パートナーとの「家事」の分担割合について、「現実」は「ほぼ女性」が53.9%と最も多くなっており、次いで「すべて女性」が15.2%となり、「男女半々」は15.0%にとどまります。一方「希望」は「男女半々」が最も多く60.9%を占めており、次いで「ほぼ女性」が15.9%を占めています。
- ・家庭内での配偶者・パートナーとの「育児」の分担割合について、「現実」は「ほぼ女性」が48.6%、「すべて女性」が11.7%となり、「男女半々」は23.4%にとどまります。一方「希望」は「男女半々」が最も多く68.6%を占めており、次いで「ほぼ女性」が8.4%を占めています。
- ・家庭内での配偶者・パートナーとの分担割合は、「家事」も「育児」も「現実」は「ほぼ女性」が多くなっていますが「希望」は「男女半々」が多くなっています。また、「家事」に比べ「育児」は、「現実」も「希望」も、「男女半々」の占める割合が多くなっています。

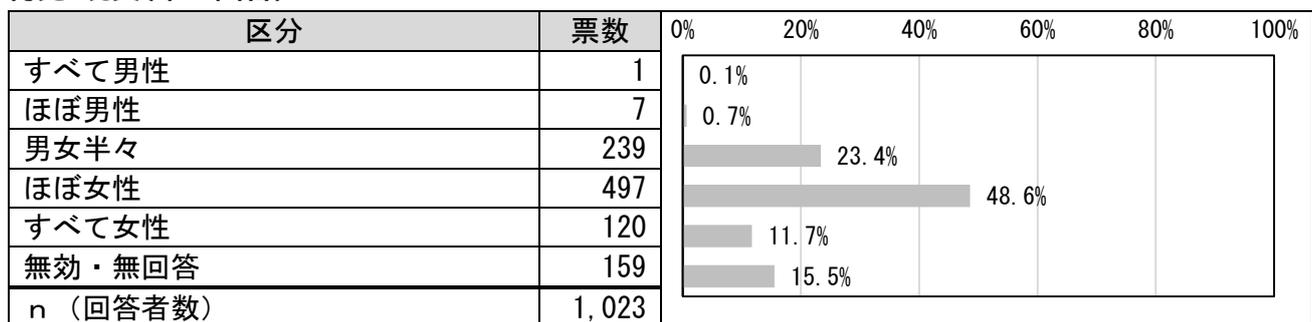
家事・現実(単一回答)



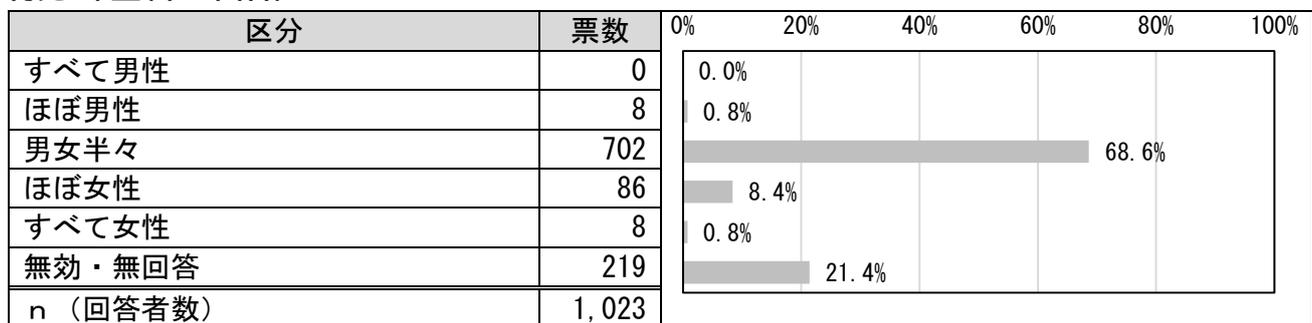
家事・希望(単一回答)



育児・現実(単一回答)



育児・希望(単一回答)



(5)ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要なもの(複数回答※3つまで)

問 21 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、必要なものは何だと思いますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、必要なものは「フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入」が43.3%、「ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード」が37.4%、「有給休暇取得の促進（1時間単位で利用できる有給休暇制度の拡充など）」が25.0%、「休業制度（育児休業や介護休業など）」が22.5%と多くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
休業制度（育児休業や介護休業など）	230	22.5%					
事業所の従業員に対する経済的支援（保育料やベビーシッター代等の補助など）	120	11.7%					
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設、企業主導型保育事業を含む）の設置	36	3.5%					
フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入	443	43.3%					
テレワーク（ICTの活用で時間や場所の制約を受けない働き方）、勤務地の限定	201	19.6%					
ノー残業デーなど時間外労働削減のための措置	92	9.0%					
休暇制度（ボランティア休暇、リフレッシュ休暇など）	215	21.0%					
ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード	383	37.4%					
有給休暇取得の促進（1時間単位で利用できる有給休暇制度の拡充など）	256	25.0%					
復職支援（情報提供、学習支援など）	49	4.8%					
保育所・放課後児童クラブなど子どもを預かる施設、介護施設の充実	149	14.6%					
取組企業への経済的支援	90	8.8%					
経営者への理解促進	123	12.0%					
配偶者・パートナーの意識改革	206	20.1%					
その他	22	2.2%					
無効・無回答	33	3.2%					
n（回答者数）	1,023						

8 子育てに関して

(1)子育てに関して感じていること(単一回答)

問 22 あなたは子育てに関して現在どのように感じていますか。あなたの考えにもっとも近いもの1つをお選びください。

- ・子育てに関して現在感じていることは、「楽しいと感じている」が29.3%、「どちらかといえば楽しい」が42.3%となっており、子育てを楽しんでいる方が71.6%となっています。
- ・一方、「何となく不安や負担を感じる」が23.1%、「非常に不安や負担を感じる」が4.9%となっており、子育てを不安や負担に感じている方が28.0%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
楽しいと感じている	300	29.3%					
どちらかといえば楽しい	433	42.3%					
何となく不安や負担を感じる	236	23.1%					
非常に不安や負担を感じる	50	4.9%					
無効・無回答	4	0.4%					
n (回答者数)	1,023						

家事分担(現実)×子育てに関して感じていること

- ・家事分担(現実)別の子育てに関して感じていることについては、特徴的な傾向はみられません(「すべて男性」はサンプル数が少ない)。

上段：票数 下段：割合	子育てに関して感じていること					
	n (回答者数)	楽しいと感じている	どちらかといえば楽しい	何となく不安や負担を感じる	非常に不安や負担を感じる	無効・無回答
全体	1,023	300	433	236	50	4
	100.0%	29.3%	42.3%	23.1%	4.9%	0.4%
すべて男性	1	0	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
ほぼ男性	10	3	3	3	1	0
	100.0%	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%	0.0%
男女半々	153	48	64	38	3	0
	100.0%	31.4%	41.8%	24.8%	2.0%	0.0%
ほぼ女性	551	156	248	120	25	2
	100.0%	28.3%	45.0%	21.8%	4.5%	0.4%
すべて女性	155	48	63	35	9	0
	100.0%	31.0%	40.6%	22.6%	5.8%	0.0%
無効・無回答	153	45	55	40	11	2
	100.0%	29.4%	35.9%	26.1%	7.2%	1.3%

育児分担(現実)×子育てに関して感じていること

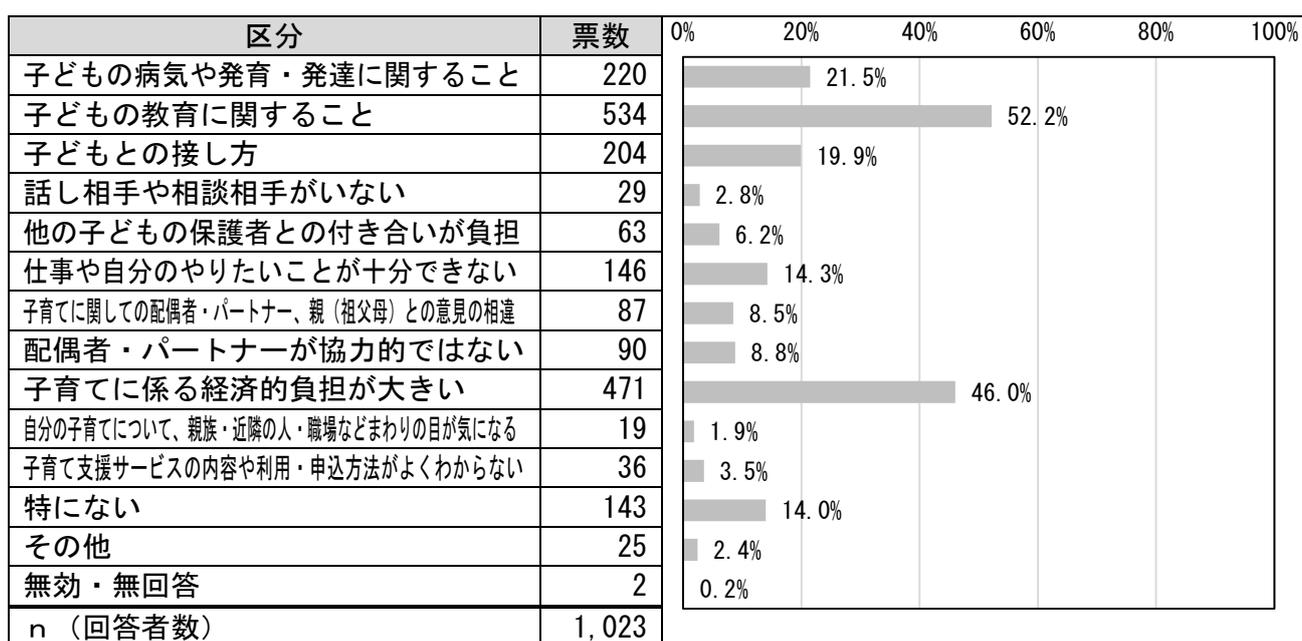
- ・育児分担（現実）別に子育てに関して感じていることをみていくと、男性の育児の分担割合が高いほど「楽しいと感じている」との割合が増加しています（すべて男性はサンプル数が少ない）。

上段：票数 下段：割合	子育てに関して感じていること					
	n（回答者数）	楽しいと感じている	どちらかといえば楽しい	何となく不安や負担を感じる	非常に不安や負担を感じる	無効・無回答
全体	1,023	300	433	236	50	4
	100.0%	29.3%	42.3%	23.1%	4.9%	0.4%
すべて男性	1	0	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
ほぼ男性	7	3	2	1	1	0
	100.0%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%
男女半々	239	85	100	50	4	0
	100.0%	35.6%	41.8%	20.9%	1.7%	0.0%
ほぼ女性	497	134	222	116	23	2
	100.0%	27.0%	44.7%	23.3%	4.6%	0.4%
すべて女性	120	32	52	26	10	0
	100.0%	26.7%	43.3%	21.7%	8.3%	0.0%
無効・無回答	159	46	57	43	11	2
	100.0%	28.9%	35.8%	27.0%	6.9%	1.3%

(2)子育てに関して気になること、悩んでいること(複数回答※3つまで)

問 23 子育てに関して、特に気になることや悩んでいることはどのようなことですか。主なものを3つまでお選びください。

- ・子育てに関して、特に気になることや悩んでいることは、「子どもの教育に関すること」が52.2%と最も多くなっており、次いで「子育てに係る経済的負担が大きい」が46.0%、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が21.5%、「子どもとの接し方」が19.9%となっています。



(3)子育てや教育に関する悩みの相談相手(複数回答)

問 24 身近な地域で、子育てや教育に関する悩みを誰に（どこに）相談していますか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・子育てや教育に関する悩みの相談相手は「配偶者・パートナー」が最も多く 64.9%を占めており、次いで「友人・知人」が 54.8%、「その他の親族(親、兄弟姉妹など)」が 48.1%、「職場の人」が 32.9%となっています。
- ・一方、「相談相手がない」が 3.4%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
配偶者・パートナー	664	64.9%					
その他の親族(親、兄弟姉妹など)	492	48.1%					
友人・知人	561	54.8%					
職場の人	337	32.9%					
学校などの保護者の仲間	167	16.3%					
学校の先生	160	15.6%					
地域の民生・児童委員、主任児童委員	2	0.2%					
教育プラザ	20	2.0%					
市役所・市の機関の窓口	5	0.5%					
福祉健康センターの保健師	4	0.4%					
かかりつけの医療機関	62	6.1%					
相談相手がない	35	3.4%					
相談すべきことはない	24	2.3%					
その他	11	1.1%					
無効・無回答	4	0.4%					
n (回答者数)	1,023						

(4)子育てに関する情報の入手先(複数回答)

問 25 子育てに関する情報をどのように得ていますか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・子育てに関する情報の入手先は、「友人・知人」が66.7%と最も多くなっており、次いで「インターネット」が53.1%、「親族（親、兄弟姉妹など）」が39.9%、「子どもの学校の保護者の仲間」が36.4%、「学校」が34.6%となっています。
- ・一方、「情報の入手先がない」が0.7%、「情報の入手手段がわからない」が1.8%を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
親族（親、兄弟姉妹など）	408	39.9%					
友人・知人	682	66.7%					
学校	354	34.6%					
子どもの学校の保護者の仲間	372	36.4%					
アプリ、SNS	238	23.3%					
インターネット	543	53.1%					
テレビ、ラジオ	186	18.2%					
新聞	172	16.8%					
市役所や市の機関の窓口	39	3.8%					
子育て雑誌・育児書	55	5.4%					
コミュニティ誌・フリーペーパー	44	4.3%					
回覧板	27	2.6%					
情報の入手先がない	7	0.7%					
情報の入手手段がわからない	18	1.8%					
その他	8	0.8%					
無効・無回答	16	1.6%					
n（回答者数）	1,023						

9 子育て支援

(1)もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うか(単一回答)

問 26 あなたは、もう一人子どもがほしい（産みたい）と思いますか。あてはまるもの1つをお選びください。また、「2. 条件を整えればほしい」を選んだ場合にはその条件を、「3. ほしくない」を選んだ場合にはその理由を、主なものを3つまでお選びください。

もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うか(単一回答)

- ・もう一人子どもがほしい（産みたい）と思うかは、「ほしい」が4.2%、「条件を整えればほしい」が19.0%、「ほしくない」が74.4%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ほしい	43	4.2%					
条件を整えればほしい	194	19.0%					
ほしくない	761	74.4%					
無効・無回答	25	2.4%					
n（回答者数）	1,023						

もう一人子どもがほしい(産みたい)と思う条件(複数回答※3つまで)

問 26 もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うかで「2. 条件を整えればほしい」を選んだ方

- ・もう一人子どもが「条件を整えればほしい（産みたい）」と回答した方の条件は、「年齢が若ければ（体力があれば）」が85.6%、「経済的に余裕ができれば」が72.7%、「子育てや教育に要する費用の負担が軽ければ」が44.8%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
経済的に余裕ができれば	141	72.7%					
年齢が若ければ（体力があれば）	166	85.6%					
仕事に復帰できる環境を整えれば	7	3.6%					
職場の理解があれば	11	5.7%					
住宅事情がよければ	9	4.6%					
子育てや教育に要する費用の負担が軽ければ	87	44.8%					
配偶者・パートナーの協力があれば	38	19.6%					
社会環境がよければ	22	11.3%					
子どもの性別が分かれば	8	4.1%					
末子がもう少し大きくなれば	0	0.0%					
その他	2	1.0%					
無効・無回答	0	0.0%					
n（回答者数）	194						

もう一人子どもがほしくない理由(複数回答※3つまで)

問 26 もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うかで「3. ほしくない」を選んだ方

- ・もう一人子どもが「ほしくない」と回答した方の理由は、「年齢的に厳しいため(体力がないため)」が78.7%と最も多くなっており、次いで「経済的に厳しいため」が39.8%、「既に欲しかった人数の子どもがいるため」が36.0%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
経済的に厳しいため	303	39.8%					
年齢的に厳しいため(体力がないため)	599	78.7%					
既に欲しかった人数の子どもがいるため	274	36.0%					
仕事を続けたいため	47	6.2%					
住宅環境が手狭であるため	20	2.6%					
兄弟姉妹との年齢が離れるため	54	7.1%					
子育てや教育に要する費用の負担が重いため	148	19.4%					
自分や配偶者・パートナーとの時間を大切にしたいため	17	2.2%					
配偶者・パートナーの協力が得られないため	24	3.2%					
子育てに疲れたため	57	7.5%					
社会環境が良くないため	32	4.2%					
その他	14	1.8%					
無効・無回答	9	1.2%					
n(回答者数)	761						

(2)行政が行っている子育て支援の満足度(単一回答)

問 27 現在、行政が行っている子育て支援について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

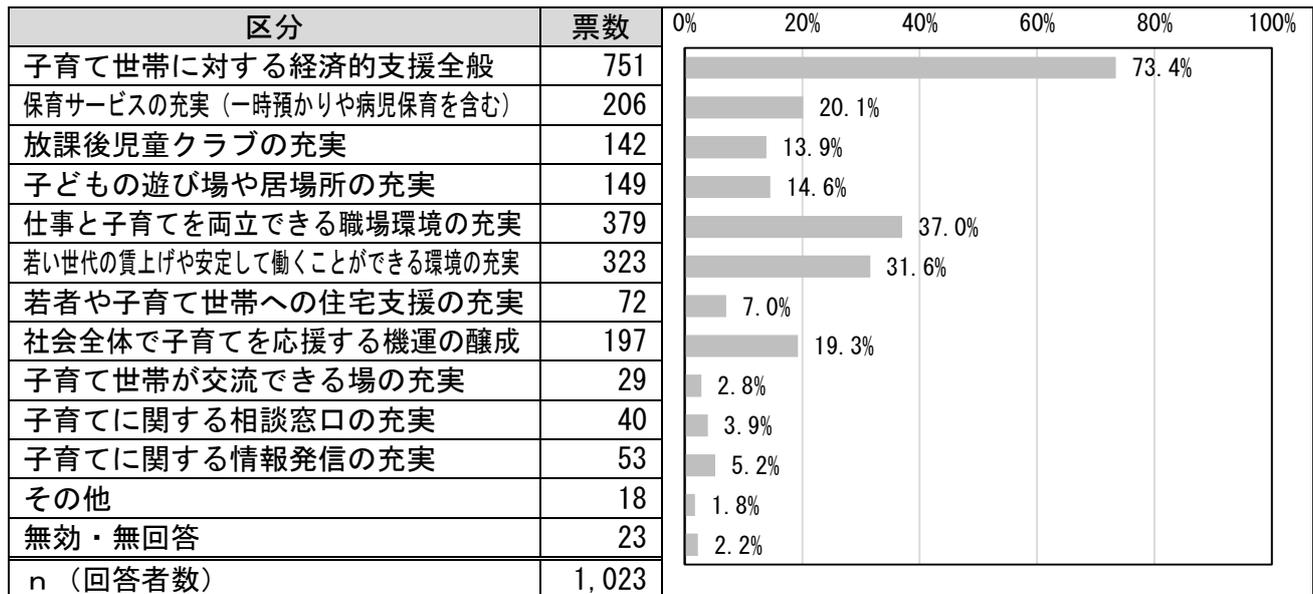
- ・行政が行っている子育て支援の満足度は、「満足」が0.8%、「ほぼ満足」が22.3%となっており、行政が行っている子育て支援を満足に感じている方は23.1%となっています。
- ・一方、「やや不満」が31.6%、「不満」が25.1%となっており、行政が行っている子育て支援を不満に感じている方は56.7%となっています。また、「わからない」が19.4%を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
満足	8	0.8%					
ほぼ満足	228	22.3%					
やや不満	323	31.6%					
不満	257	25.1%					
分からない	198	19.4%					
無効・無回答	9	0.9%					
n(回答者数)	1,023						

(3)子育て支援策として重要な取組(複数回答※3つまで)

問 28 あなたは子育て支援策として、どのような取組が重要だと考えますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・子育て支援策として重要な取組は、「子育て世帯に対する経済的支援全般」が最も多く73.4%を占めており、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境の充実」が37.0%、「若い世代の賃上げや安定して働くことができる環境の充実」が31.6%となっています。



10 まちへの親しみ・定住

(1)金沢市への愛着や親しみの有無(単一回答)

問 29 あなたは金沢市に愛着や親しみがありますか。

- ・金沢市への愛着や親しみの有無は、「ある」が46.8%、「どちらかといえばある」が42.9%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じている方が89.7%となっています。
- ・一方、「どちらかといえはない」が7.2%、「ない」が2.7%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じていない方が9.9%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ある	479						
どちらかといえばある	439						
どちらかといえはない	74						
ない	28						
無効・無回答	3						
n (回答者数)	1,023						

(2)金沢市への愛着や親しみを感じるどころ(複数回答※3つまで)

問 29 金沢市への愛着や親しみの有無で「1・2」(ある)を選んだ方

問30 金沢市のどのようなところに愛着や親しみを感じますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

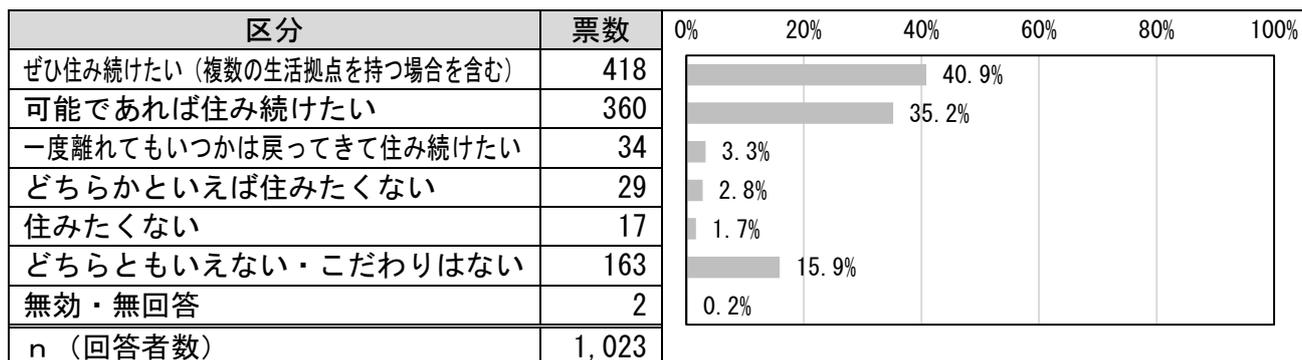
- ・金沢市への愛着や親しみを感じるどころは、「生まれ育ったまちだから」が最も多く51.2%となっており、次いで「安全・安心に暮らせる」が37.6%、「買い物や通勤・通学がしやすい」が29.5%、「歴史や伝統を感じられる」が26.1%、「親しい友人・知人がいる」が25.9%、「まちなみや景観が美しい」が22.9%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生まれ育ったまちだから	470						
歴史や伝統を感じられる	240						
まちなみや景観が美しい	210						
文化・芸術活動が盛んである	183						
まちに賑わいがある	37						
自然が豊かである	166						
安全・安心に暮らせる	345						
買い物や通勤・通学がしやすい	271						
図書館やスポーツ施設などの公共施設が充実している	86						
地域コミュニティ活動が盛んである	12						
子育てがしやすい	50						
親しい友人・知人がいる	238						
その他	19						
無効・無回答	4						
n (回答者数)	918						

(3)金沢市での定住希望(単一回答)

問 31 あなたはこれからも金沢市に住み続けたいと思いますか。

- ・金沢市での定住希望は、「ぜひ住み続けたい（複数の生活拠点を持つ場合を含む）」が40.9%、「可能であれば住み続けたい」が35.2%、「一度離れてもいつかは戻ってきて住み続けたい」が3.3%となっており、金沢市に住み続けたいと思っている方が79.4%となっています。
- ・一方、「どちらかといえば住みたくない」が2.8%、「住みたくない」が1.7%となっており、金沢市に住み続けたくないと思っている方が4.5%となっています。
- ・また、「どちらともいえない・こだわりはない」が15.9%を占めています。

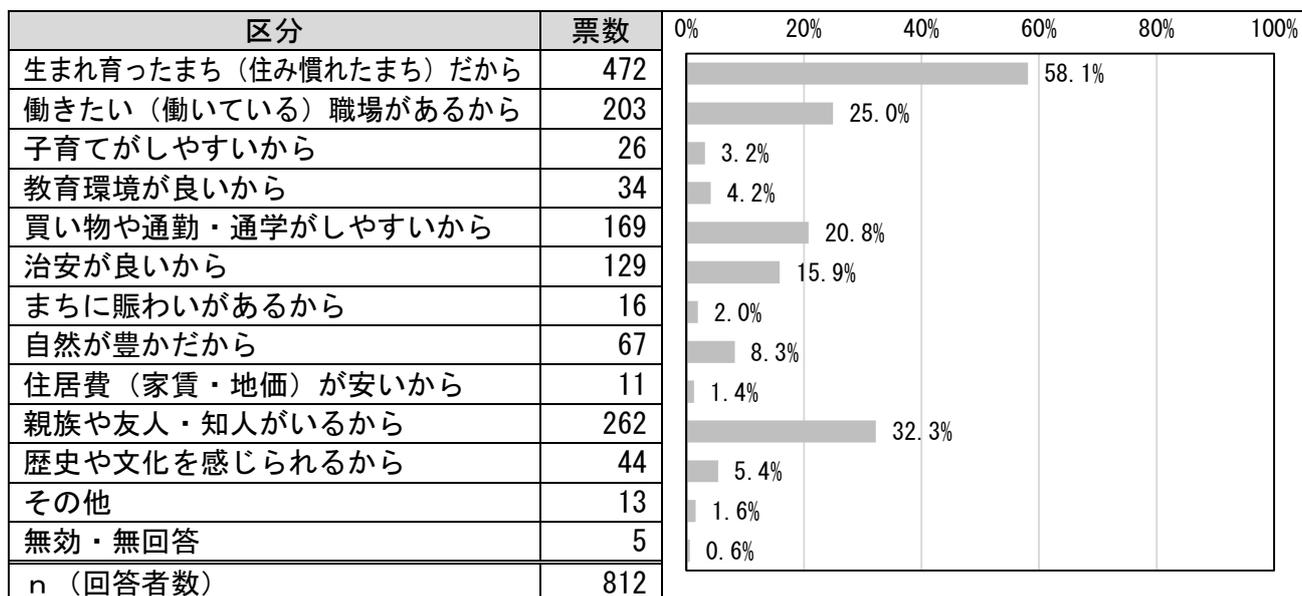


(4)金沢市に住み続けたい理由(複数回答※2つまで)

問 31 金沢市での定住希望で「1～3」(住み続けたい)を選んだ方

問32 金沢市に「住み続けたい」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたい」と思う理由は、「生まれ育ったまち（住み慣れたまち）だから」が58.1%と最も多くなっており、次いで「親族や友人・知人がいるから」が32.3%、「働きたい（働いている）職場があるから」が25.0%、「買い物や通勤・通学がしやすいから」が20.8%となっています。

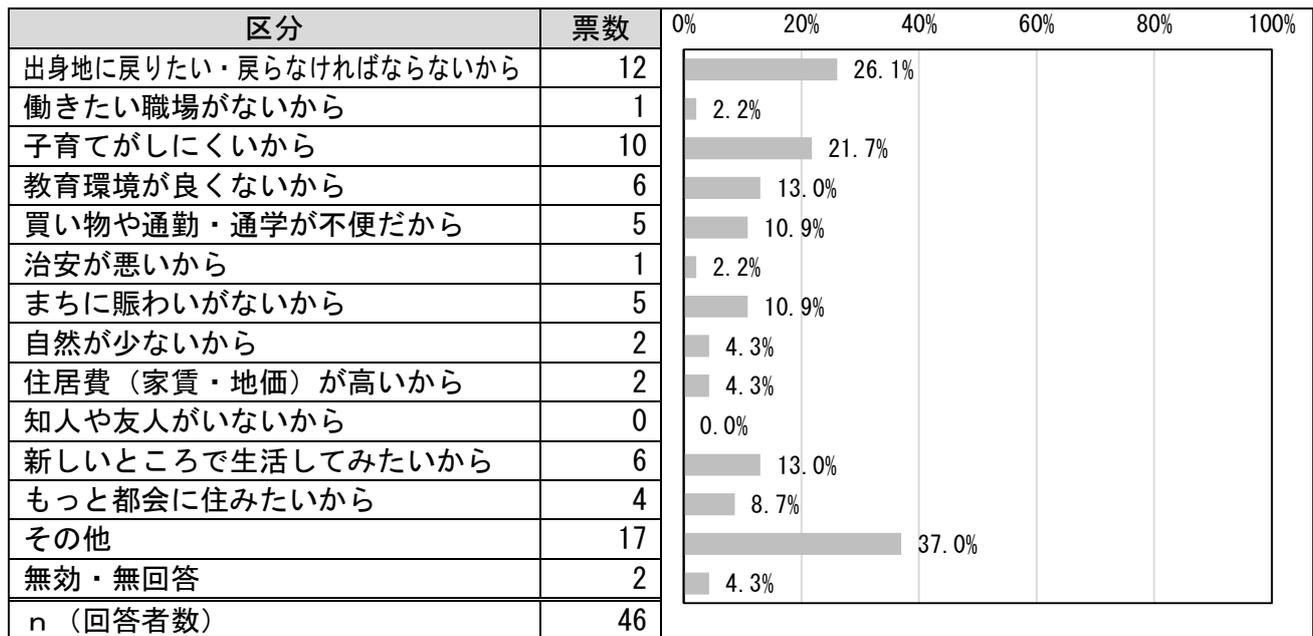


(5)金沢市に住み続けたくない理由(複数回答※2つまで)

問 31 金沢市での定住希望で「4・5」(住み続けたくない)を選んだ方

問 33 金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は、「出身地に戻りたい・戻らなければならないから」が最も多く 26.1%を占めており、「子育てがしにくいから」が 21.7%となっています。また、「その他」が多くなっており、天候の意見が多くなっています。



11 自由意見

(1)子どもがいて「良かった」と感じること・「感動した」こと（自由回答）

問 34 子どもがいて「良かった」と感じること・「感動した！」ことはどんなことですか。どんなことでも結構ですので、記入してください。

子どもの成長

- ・子どもの成長する姿や頑張っている姿に感動をもらい、自分は子どものためにも頑張ろうと思えるし、子どもの存在が支えにもなる。
- ・親しい友人ができ、互いに認めあい尊重している姿を見た時や親の話がどんどん分かるようになり、自分の意見を持てるようになった時。
- ・部活や勉強などで難しい目標を目指して無心で頑張っている姿や成長する姿を見るたびに、子どもがいなければこの感動は味わえなかったと幸せに思います。
- ・出来なかったことが、どんどん出来るようになっていく様子が見られること。成長した今は対等に自分の考えを述べ、自分の社会を持ち始めているところ。

自分の成長

- ・子どもの成長に関わることで、自分自身も成長出来る。子どもを育てる中でたくさんの方に、気づけることや自分自身の向き合った事柄に関して、良いことも、悪いことも返ってくる中で、色々なことを見つめ直すことが出来ること。
- ・子どもが成長してゆく過程で、自分自身が成長でき、視野が広がった。
- ・子育てから自分も成長させてもらっている。私の人生を色濃くしてくれているのは子ども達のおかげ。
- ・子どもがひとりの人間として成長する時に、自分にはない視点で物事を捉えて教えてくれた時。親が子どもから学ぶことはとても多いです。

自分の親への感謝

- ・子育てすることで自分の親もこんな風に育ててくれたんだと感謝の気持ちを持たた。
- ・子を産んで親の気持ちが理解できたし小さなことでも感謝できる人間になれたと思う。

家族との絆

- ・子どもの明るく可愛い笑顔が見られること。家庭内が明るく賑やかになったこと。夫婦が戦友として絆が強まったこと。子育てや子どもを通じて新しい人間関係や世界が広がったこと。
- ・コロナ禍でも、孤独になることもなく、兄弟同士で遊ぶこともできていたので、家族のありがたさを感じた。

地域・人との交流

- ・子どもを通じた親同士の交流。PTAや学童保育などで広がった。そんな親を見て子どもたちも積極的に関わるようになった。
- ・子どもの部活動やクラブチームでの活動を通して親も一緒に一喜一憂したくさんの方々と関わる事ができ、自分も貴重な経験を積んだこと。

- ・親になって初めての世界観が広がる時に、子供がいて幸せだと感じます。学校行事等でたくさんのかたと接する機会が増えて、子がいなかったら気にもしないことを考えさせられ、子供がいないと体験できなかったことが多かったと感じます。
- ・そばで成長を見届ける事ができ、成長を実感できる。子どもを介してのコミュニティが広がる。
- ・子どもがいてこそ体験できるすべてのこと。学校行事に参加することも貴重な体験。また、子どもを通して知り合った保護者の方。転勤族で地元ではないため、子どもがいなかったら自分のコミュニティは広がらなかったと思う。

生きがい

- ・子供がいることで自分が親として共に成長することができた。自分より大切な存在がいることで、生きる意味を感じられること。
- ・自分の生きがいになっており、何事にも頑張れることを良かったと感じる。
- ・自分が生きるための希望、楽しみ、生きがいです。子供達はいい子に育ってくれたし、また、子供が結婚し孫ができて、自分の子供とは違う可愛らしさがあり、うちに遊びにきてくれたりすると楽しいです。

その他

- ・子育てを通して新たな感情、発見ができる。子どもの感性や存在自体に救われる事がある。
- ・能登半島地震において家族の大切さ、子どもと一緒にいられることの幸せを何よりも大切にしたいと感じた。
- ・子どもができた事で、自分にまっすぐ向けられる信頼や愛情、またその逆など子どもが居ないと生まれぬ感情を感じる。
- ・子どもとの時間の共有、思い出の共有、喜びや悲しみの共有、全部感動です。

(2)子育てで「つらい」と感じる事・「困ったこと」(自由回答)

問 35 子育てで「つらい」と感じる事・「困ったこと」はどんなことですか。どんなことでも結構ですので、記入してください。

子どもの病気や発育・発達に関する事

- ・発達障害の子がいるが、どこに相談すればいいのか、すぐにわからなかった。自分も年をとっていくので、この子の将来が心配。
- ・24時間子どもの相手をするのがつらかった、複数のアレルギーがあったが家族・教育機関の無理解がつらかった。
- ・発達が遅く他の子とつい比べてしまって落ち込むこと。それに対して理解してもらえない人がいた時。困っていること、つらいことを金沢市に伝えられる機会がなかなか無いこと。

子どもの教育に関する事

- ・公教育の子ども観が古いままであり、学校が勉強の点数向上や規則を遵守させることに気を取られて、子供が学校を楽しめない時期があったことがとても辛かった。信頼関係を心から作れた教師も少なかった。
- ・私立の小中高が少ないせいか、先取り教育をしている学校が少なく県外へ出た時についていけない不安でたまらない。それを補う為に塾やオンライン、県外へ習い事に行くに経済的に苦しい。

子どもとの接し方

- ・あまり多くを話さない子なので本人の気持ちをしっかりと理解してあげられない事がつらいです。
- ・中学生になってからは、子供との接し方に悩みます。思春期の難しい時期なのかわりきりか無いと思っはいますが。勉強面でも学校面でも、どこまで入り込んできにしたらいいのが、本当に難しいです。
- ・男の子の反抗期。助言してくれる父親がいれば少しは落ちつけたかも。全てを受けとめるには難しい時期。

子どもの交友関係

- ・学校でのいじめ。いじめや嫌がらせが多すぎて勉強や部活に集中できない環境。
- ・子どもが友達関係で悩んでいて「死にたい」と言われた時。
- ・思春期の子ども同士の間人間関係について。性に関する事。

しつけや生活習慣

- ・携帯を持たせたところ、友達とラインをしたりゲームをしたりして明らかに勉強時間が減っているので、今後は心配なこと。
- ・勉強せずに、スマホ依存症になっている姿をみたとき。

病気の際の対応(子ども・自分)

- ・子どもが病気の時に主人は休めず私も仕事を休めないのに預ける場所や人がなかった時。結局は母親が休むしかない。明けて仕事に行くと嫌な雰囲気がある。
- ・子どもが交互に延々と病気にかかり、自分も調子が悪くなった時。子どもが原因不明のじんましんで入院した時。病児保育の枠が無かった時。

- ・持病がある子や姉弟が多いと、感染症などで何日も仕事を休まないといけないこと。具合が悪く寝込んでいる子を病児保育に簡単に預けられない、親として気が引ける。また、利用するとしても、時間給をつかわずに勤務時間内で預けられる病児保育も少ない。病児保育自体キャンセル待ち。有給を取りやすくなっているとされるが現実はその簡単にとれない。同居や親が近くにいない家庭にとっては病気で有給を取得することにかなり辛い思いをしている。

自分の時間がない・仕事との両立

- ・仕事との両立が難しく、エッセンシャルワーカーとして子供より仕事を優先せざるを得ないとき。周りの理解が得られないとき、経済的理由で子供の進路を狭めなければ行けない時。
- ・子どもの数が増えると、子どもを病院などに連れていく回数が増え、仕事の休み取りづらくなり、子どもの定期検査など放置してしまっている。

経済的負担が大きい

- ・お金がいくらあっても足りない。大きくなるほど金がかかるのに、18歳までしか児童手当がないのはおかしい。正直子どもを大学に通わせてあげたくても無理。子どもが多ければ多いほど減税するなどしてほしい。子供5人で生活が辛いのに、今年から中学の支援金が通らず仕事を増やした。
- ・子どもの年齢が上がる(大学進学)につれての経済的負担が大きすぎる。なるべく子どもの希望に沿った進路を進ませたいが、それができるのは子どもが一人の場合だけだと強く感じる。我が家は来年度子どもが二人とも大学生となるためこれからの生活に不安しかない。
- ・子育てにかかる生活費、教育費が高い。特に教育費は底なしの様相で、賃金状況に見合っているとは言えない。高校まで授業料無料とは言っても、授業料以外にかかる学校生活の必要経費の負担が重い。大学はいうにあたわず、大学進学・在籍にかかる全ての負担が保護者にかかるのは重すぎる。子に自由な選択を与えることは経済的観点から現実的には難しい。また、最近の物価高も重い。社会保険料や税金負担も重く、賃金が上がらない分、実質的な生活費の目減り幅が大きい。その上さらに物価がどんどん上がり、ただただ苦しい。

配偶者・パートナーが協力的ではない・考え方の相違

- ・子供が3人いての成長期に経済的に大変でフルタイムで働き、配偶者の協力もなく、両立に限界を感じてしまい辛い思いをした。
- ・配偶者が非協力的で、子供との関わりがないので子供の成長が心配。
- ・パートナーとの家事分担が平等でなく、母親である自分に家事育児等の負担が偏っている状況です。自分もフルタイム勤務で社会的責任を担っており、また生活費も平等に負担しているにも関わらず、家事育児分担は平等ではないという理不尽さに、ずっとモヤモヤした気持ちを抱えながら生活しています。性別に関わらず仕事と家事を両立しやすい社会をつくるには、男性の意識改革が重要ではないかと思えます。

地域や PTA

- ・子どもにまつわる親がやらなければならない役員や係が負担。不公平感を感じる。
- ・部活は親の送り迎えが前提になっているが、皆が可能ではない。PTAも、子どもを祖父母に預けないと活動が難しい場合もあり、家族構成の変化や、地元出身以外が増加しているのに、活動前提が変わってない。
- ・PTAへのほぼ強制加入。加入しない選択肢がある事を広めて欲しい。本当に負担。

他の子の親との付き合い

- ・価値観が合わなくて、子どもや親同士で揉めたとき。
- ・義務教育中の親同士の繋がりが特に苦手な嫌だった。

ひとり親家庭

- ・夫が亡くなり、母では父親のかわりを努めてあげられない事が困っている。
- ・ひとり親なので、諸々対応しきれないことがあり、子どもたちに申し訳ないという気持ちが常にあること。

相談体制・情報発信

- ・学校にスクールカウンセラーの方がいらっしゃる日が少なく、いろいろ相談したいと思っても予約がいっぱいだったり、仕事の休みの都合と合わなく、ほとんど利用出来ていない。子どもも、相談しづらいと話している。もっと相談しやすい環境になって欲しい（土日でも相談できる、メールやオンラインでも相談できる、など）。
- ・自律神経のバランスが悪く朝起きれないことが続いて学校を休み、よくイライラして私にあたられると、どう接するのが正しいのかわからなく辛い。相談もどこにしていいいかわからない。

(3)金沢市の子育ての環境や支援に関する意見（自由回答）

問 36 最後に、金沢市の子育ての環境や支援についてご意見がございましたら、ご自由に入力してください。

経済的支援

- ・高校生も医療費を500円、もしくは他の自治体のように無償化してほしい。
- ・給食費を無料にしてほしい。
- ・高校授業料の無償化を希望する。所得制限はやめて欲しい。
- ・大学の学費の無償化を目指して欲しい。
- ・高校生、大学生まで視野にいた経済的支援をしてほしい。
- ・親の収入、子どもの人数の判断ではなく、子ども1人の支援として考えて欲しい。

こどもの居場所、預かり

- ・幼い子供への支援、遊び場などは多いように思うが、中学生以上への支援、遊び場的なものはとでも少なく感じる。
- ・放課後に子供たちがいつでも安全に集える場所(図書館、ホール、自習室等、中高生を含め)を整備して欲しい。
- ・公園があるのにキャチボールが出来ない等。制限がありすぎて子供たちの遊ぶ場所がない。学校の校庭も遊ぶことが難しく、どこで子供たちを遊ばせればよいのか。自由に外遊びが出来る場所を作してほしい。
- ・病児保育施設に限られていて、子どもが風邪などをひくと、仕事の調整、病児保育施設への手配、送り迎えなど大変過ぎて、風邪をひいた子どもに対する心配をしてあげる余裕は一切なく、どう乗り切るかしか考えられない状態になっていた。保育園でそのまま預かってくれるシステムがあればよかったと思う。
- ・学童の環境があまり良くなかったのが、費用も人員も市からなんとかしてほしかった。これから子供達や保護者の為に、とにかく学童を充実してほしい。
- ・放課後等デイサービス以外で、緊急時に預かってもらえたり、宿泊できる支援があると心強い。

情報提供・相談窓口

- ・電話が苦手なので、それ以外の方法、たとえば、チャットとか、で相談出来る手段があればいいと思う。
- ・不登校児が増えています。学校の受け入れ体制はあるように感じますが、不登校児の学校以外の施設や相談窓口がもっと増えたらいいなと思います。
- ・放課後デイなどのサービスの情報発信が少ないし、どういうサービスがある・受けられるかも知らない方も多い。金沢市としての発信方法を考えるべき。

その他

- ・外国ルーツの子どもに対する教育を充実させて欲しい。
- ・育児に関する時短制度を、学童期の子どもを持つ親に対しても使えるようにして欲しい。

